年間授業計画

高等学校 令和６年度（１学年用） 教科　　国語　　科目 現代の国語

教　科：　国語　　科　目：　現代の国語　　単位数：　2　単位

対象学年組：第　　１学年　　１組

教科担当者：（1組：佐藤圭　）　（　組：　　）　（　組：　　）　（　組：　　）　（　組：　　）　（　組：　　）

使用教科書：（ 高等学校　標準現代の国語（第一学習社）　　）

教科　国語　　の目標：

【 知　識　及　び　技　能 】生涯にわたる社会生活に必要な国語について，その特質を理解し適切に使うことができるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め，思考力や想像力を伸ばす。

【学びに向かう力、人間性等】言葉のもつ価値への認識を深めるとともに，言語感覚を磨き，我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち，生涯にわたり国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

科目　現代の国語　　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし,他者との関わりの中で伝え合う力を高め,自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに,生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ,我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち,言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配当時数
			話・聞	書	読					
1学期	A 単元 筆者の考える読書の効用について文章構成をもとに理解し、自分に照らして考えを深めさせる。 【知識及び技能】 文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解させる。 主張と論拠など情報と情報との関係について理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握させる。 【学びに向かう力、人間性等】 読書の効用について積極的に考え、学習課題に従ってまとめさせる。	【指導項目・内容】 読書の効用について述べた文章を読み、自分の意見や考えを論述させる。 【教材】 なぜ本を読むのか（又吉直樹）	○	○	○	【知識及び技能】 文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解している。 主張と論拠など情報と情報との関係について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握している。 【学びに向かう力、人間性等】 読書の効用について積極的に考え、学習課題に従ってまとめている。	○	○	○	6
	B 単元　自分の意見を聞き手にわかりやすく伝えるスピーチの方法を理解させる。他の人のスピーチを聞き取り、評価する方法を学ばせる。 【知識及び技能】 話し言葉の特徴や役割、表現の特色を踏まえ、正確さ、分かりやすさ、適切さ、敬意と親しさなどに配慮した表現や言葉遣いについて理解を深め使わせる。 【思考力、判断力、表現力等】 「話すこと・聞くこと」において、自分の考えが的確に伝わるよう、自分の立場や考えを明確にするとともに、相手の反応を予想して論理の展開を考えるなど、話の構成や展開を工夫させる。 【学びに向かう力、人間性等】 進んで表現や話し方を工夫し、今までの学習を生かして効果的に話そうとしている。積極的にスピーチを聞き、評価シートを活用して評価しようとさせる。	【指導項目・内容】 自分の意見を聞き手にわかりやすく伝えるスピーチの方法を理解させ、実践させる。 【教材】 「スピーチで自分を伝える」	○			【知識及び技能】 話し言葉の特徴や役割、表現の特色を踏まえ、正確さ、分かりやすさ、適切さ、敬意と親しさなどに配慮した表現や言葉遣いについて理解を深め使っている。 【思考力、判断力、表現力等】 「話すこと・聞くこと」において、自分の考えが的確に伝わるよう、自分の立場や考えを明確にするとともに、相手の反応を予想して論理の展開を考えるなど、話の構成や展開を工夫している。 【学びに向かう力、人間性等】 進んで表現や話し方を工夫し、今までの学習を生かして効果的に話そうとしている。積極的にスピーチを聞き、評価シートを活用して評価している。	○	○	○	6
	定期考査						○	○		1
	C 単元　内容や構成、論理の展開を的確に捉え、要旨を把握させる。言葉遣いの役割について述べた文章を読み、自分の意見や考えを論述させる。 【知識及び技能】 言葉には知識や思考を支える働きがあることを理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握させる。 【学びに向かう力、人間性等】 本文の構成と論理の展開を捉え、学習課題に沿って要旨をまとめさせる。	【指導項目・内容】 内容や構成、論理の展開を的確に捉え、要旨を把握させる。言葉遣いの役割について述べた文章を読み、自分の意見や考えを論述させる。 【教材】 言葉遣いとアイデンティティ（中村桃子）	○	○	○	【知識及び技能】 言葉には知識や思考を支える働きがあることを理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握している。 【学びに向かう力、人間性等】 本文の構成と論理の展開を捉え、学習課題に沿って要旨をまとめている。	○	○	○	6

	D 単元　情報を大勢の聞き手にわかりやすく説明するプレゼンテーションの方法を理解させ、実践させる。 【知識及び技能】 　情報の妥当性や信頼性の吟味の仕方について理解を深め使わせる。 【思考力、判断力、表現力等】 　「話すこと・聞くこと」において、自分の考えが的確に伝わるよう、自分の立場や考えを明確にするとともに、相手の反応を予想して論理の展開を考えるなど、話の構成や展開を工夫させる。 【学びに向かう力、人間性等】 　表現や話し方を工夫し、効果的に話そうとする力を身につけさせる。	【指導項目・内容】 理想の修学旅行案を提案するための企画書・スライド作りを行わせる。 資料を用いながらプレゼンテーションを行わせる。 【教材】 「理想の修学旅行をプレゼンする」	○			【知識及び技能】 　情報の妥当性や信頼性の吟味の仕方について理解を深め使っている。 【思考力、判断力、表現力等】 　「話すこと・聞くこと」において、自分の考えが的確に伝わるよう、自分の立場や考えを明確にするとともに、相手の反応を予想して論理の展開を考えるなど、話の構成や展開を工夫している。 【学びに向かう力、人間性等】 　表現や話し方を工夫し、効果的に話そうとしている。	○	○	○	8
	定期考査						○	○		1
2学期	A 単元 東西の対比関係を用いながら、日本の水文化に見られる特徴について論じる叙述の方法を把握させる。 【知識及び技能】 　対比構造を用いた論理の展開について理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 　論理の展開を的確に捉え、要旨を把握させる。 【学びに向かう力、人間性等】 　情報と情報の対比を通じて論理の展開を分析させる。	【指導項目・内容】 対比構造に着目し、情報を相互に関連づけながら、要旨を把握させる。 【教材】 水の東西（山﨑正和）	○	○	○	【知識及び技能】 　対比構造を用いた論理の展開について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 　論理の展開を的確に捉え、要旨を把握している。 【学びに向かう力、人間性等】 　情報と情報の対比を通じて論理の展開を分析している。	○	○	○	6
	B 単元　表記・表現の基本を身につけ情報を的確に紹介する方法を理解させる。 【知識及び技能】 　表記・表現の基本ルールを理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 　自分の考えが的確に伝わるよう、根拠の示し方や説明の仕方を考えるとともに、表現の仕を工夫させる。 【学びに向かう力、人間性等】 効果的に書くための方法を積極的に理解させ、表現の工夫を身につけさせる。	【指導項目・内容】 表記・表現の基本ルールについて学習させる。作成した文章を用いて発表を行わせる。 【教材】 「書き方の基礎レッスン」	○	○		【知識及び技能】 　表記・表現の基本ルールを理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 　自分の考えが的確に伝わるよう、根拠の示し方や説明の仕方を考え、表現の仕を工夫している。 【学びに向かう力、人間性等】 効果的に書くための方法を積極的に理解し、表現の工夫を身につけている。	○	○	○	6
	定期考査						○	○		1
	C 単元　情報を相互に関係づけながら、内容を解釈させる。ステレオタイプの作られ方や問題点について述べた文章を読み、自分の意見や考えを論述させる。 【知識及び技能】 　主張と論拠など情報を情報との関係について理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 　文章に含まれている情報を相互に関係づけながら、内容や書き手の意図を解釈させるとともに、自分の考えを深めさせる。 【学びに向かう力、人間性等】 　本文を読んで考えを深め、「ステレオタイプの落とし穴」に陥らないために必要なことについて実社会から題材を求めて発表させる。	【指導項目・内容】 情報を相互に関係づけながら、内容を解釈させる。ステレオタイプの作られ方や問題点について述べた文章を読み、自分の意見や考えを論述させる。 【教材】 ステレオタイプの落とし穴（原沢伊都夫）	○	○	○	【知識及び技能】 　主張と論拠など情報を情報との関係について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 　文章に含まれている情報を相互に関係づけながら、内容や書き手の意図を解釈しているとともに、自分の考えを深めている。 【学びに向かう力、人間性等】 　本文を読んで考えを深め、「ステレオタイプの落とし穴」に陥らないために必要なことについて実社会から題材を求めて発表している。	○	○	○	7
	D 単元　話し合いの進め方のルールを理解させる。論点を共有させ考えを広げたり深めたりさせながら、話し合いを実践させる。 【知識及び技能】 　話し言葉の特徴や役割、表現の特色を踏まえ、表現や言葉遣いについて理解を深めさせる。 【思考力、判断力、表現力等】 自分の立場や考えを明確にするとともに、相手の反応を予想して論理の展開を考えるなど、話の構成や展開を工夫させる。 【学びに向かう力、人間性等】 　合意形成のための話し合いの重要性を理解させ、積極的に話し合いの進め方を理解させる。	【指導項目・内容】 話し合いの進め方のルールを理解させる。論点を共有させ、考えを広げたり深めたりさせながら、話し合いを実践させる。 【教材】 「合意形成のための話し合いを行う」	○	○		【知識及び技能】 　話し言葉の特徴や役割、表現の特色を踏まえ、表現や言葉遣いについて理解を深めている。 【思考力、判断力、表現力等】 自分の立場や考えを明確にするとともに、相手の反応を予想して論理の展開を考えるなど、話の構成や展開を工夫している。 【学びに向かう力、人間性等】 　合意形成のための話し合いの重要性を理解させ、積極的に話し合いの進め方を理解している。	○	○	○	6

	定期考査						○	○		1
3学期	A 単元　イースター島の歴史について理解し、筆者が提示する人類と生態系の在り方について考察させる。 【知識及び技能】 　文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 論理の展開、情報の分量や重要度などを考えて、文章の構成や展開を工夫させる。 【学びに向かう力、人間性等】 本文の解釈を踏まえて持続可能性について考えを深め、積極的に考えたことをまとめさせる。	【指導項目・内容】 イースター島の歴史について理解し、筆者が提示する人類と生態系の在り方について考察させる。 【教材】 イースター島になぜ森がないのか【鷲谷いづみ】	○	○	○	【知識及び技能】 　文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 論理の展開、情報の分量や重要度などを考えて、文章の構成や展開を工夫している。 【学びに向かう力、人間性等】 本文の解釈を踏まえて持続可能性について考えを深め、積極的に考えたことをまとめている。	○	○	○	6
	B 単元　現代社会の課題を把握し、適切な形で社会へと発信する方法を理解させる。 【知識及び技能】 　意見文の書き方について理解させた上で、文章にまとめさせる。 【思考力、判断力、表現力等】 　現代社会における課題を理解した上で、自分の意見や見解を適切に主張する力を身につけさせる。 【学びに向かう力、人間性等】 　情報社会、メディア社会に生きる者としての問題意識を持たせる。	【指導項目・内容】 情報やメディア社会の現状について述べた文章を読み、筆者が提起する課題を理解させる。 テーマに沿った意見文を作成させる。 他者の意見文を読み、それに対する投稿文を作成させる。 グループ内で意見交換を行わせる。 【教材】 「社会に対する意見文を書く」	○	○		【知識及び技能】 　意見文の書き方について理解させた上で、文章にまとめている。 【思考力、判断力、表現力等】 　現代社会における課題を理解した上で、自分の意見や見解を適切に主張する力を身につけている。 【学びに向かう力、人間性等】 　情報社会、メディア社会に生きる者としての問題意識を持とうとしている。	○	○	○	8
	定期考査						○	○		1

年間授業計画

高等学校 令和６年度（１学年用） 教科 国語 科目 言語文化

教　科： 国語　　科　目： 言語文化　　単位数： 2 単位

対象学年組：第 1 学年 1 組

教科担当者：（1組：金綱 ）（ 組： ）（ 組： ）（ 組： ）（ 組： ）（ 組： ）

使用教科書：（ 標準 言語文化 （第一学習社） ）

教科 国語 の目標：

【知識及び技能】実社会に必要な国語の知識や技能を身につけるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝えあう力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

科目 言語文化 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けているとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めている。	「書くこと」、「読むこと」の各領域において、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	言葉を通して積極的に他者や社会に関わったり、ものの見方、感じ方、考え方を深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、読書に親しむことで自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもとうとしている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配当時数
			話・聞	書	読					
1学期	A 単元 ・我が国の言語文化についての理解を深めるために、古典の世界に親しむことの意義を知る。 ・「古典のしるべ」を活用し、時間の経過による文字の変化について理解する。 ・古典の文章に慣れるとともに、現代に通じる話のおもしろさや人間描写の巧みさを知る。 ・説話という文章の種類を踏まえて、内容や展開を的確に捉える。 ・作品に表れているものの見方や考え方を捉え、内容を解釈する。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・主として歴史的仮名遣いや古今異義語について、文語のきまりを理解する。	・古文の学習 〔古典のしるべ〕平仮名の誕生 ・児のそら寝 古文を読むために１			○	【知識及び技能】 ・我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや古典特有の表現などについて理解を深めている。 ・時間の経過などによる言葉の変化について理解を深めている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・「読むこと」において、文章の内容や解釈を踏まえ、自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えをもっている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・これからの学習に見通しをもって、我が国の言語文化に興味・関心を深め、それを継承していくことについて強く自覚をもとうとしている。	○	○	○	5
	B 単元 ・古典の文章に慣れるとともに、古文における人物造形のおもしろさを読み取る。 ・現代まで受け継がれる物語の読み取りを通して、古文の世界への親しみを深める。 ・説話という文章の種類を踏まえて、内容や展開を的確に捉える。 ・作品に表れているものの見方や考え方を捉え、内容を解釈する。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。	・三文にて歯二つ 古文を読むために２ ・なよ竹のかぐや姫 ・絵仏師良秀 古文を読むために３			○	【知識及び技能】 ・我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・文章の意味は、文脈の中で形成されることを理解している。 ・古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや古典特有の表現などについて理解を深めている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・「読むこと」において、作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・積極的に説話を読み、叙述に基づいて人物造形のおもしろさを捉えている。 ・用言の活用について理解し、学習の見通しをもって変格活用動詞の活用表を作成しようとしている。	○	○	○	8
	定期考査						○	○		1
	C 単元 ・古典の文章に慣れるとともに、古文における人物造形のおもしろさを読み取る。 ・現代まで受け継がれる物語の読み取りを通して、古文の世界への親しみを深める。 ・作り物語という文章の種類を踏まえて、内容や展開を的確に捉える。 ・作品に表れているものの見方や考え方を捉え、内容を解釈する。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・主として品詞の種類について、文語のきまりを理解する。	・なよ竹のかぐや姫 ・絵仏師良秀 古文を読むために３			○	【知識及び技能】 ・我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・文章の意味は、文脈の中で形成されることを理解している。 ・古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや古典特有の表現などについて理解を深めている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。 ・「読むこと」において、作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・積極的に説話を読み、叙述に基づいて人物造形のおもしろさを捉えている。 ・用言の活用について理解し、学習の見通しをもって変格活用動詞の活用表を作成しようとしている。	○	○	○	8

	D 単元 ・文章の種類を踏まえて、内容や展開を的確に捉える。 ・課題に応じて調査する。 ・和歌を書き換えて、互いの解釈を比べ合う。 ・我が国の言語文化に特徴的な表現の技法とその効果について理解する。	・〔言語活動〕 古典から受け継がれる話の由来を調べる。 ・古典の和歌を現代の言葉で書き換える		○	○	【知識及び技能】 ・言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解している。 ・我が国の言語文化への理解につながる読書の意義と効用について理解を深めている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・「読むこと」において、作品の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深めている。 ・「書くこと」において、適切な題材を決め、集めた材料のよさや味わいを吟味して、表現したいことを明確にしている。 ・「書くこと」において、自分の思いが効果的に伝わるよう、構成、展開や、文体、描写、語句などの表現の仕方を工夫している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・言語文化の継承に関心と自覚をもち、粘り強く話の由来について調べようとしている。 ・古典の和歌を現代の言葉で書き換える意義を積極的に理解し、学習課題に沿って、古典の和歌を現代の言葉で書き換えようとしている。	○	○	○	7
	定期考査						○	○		1
2学期	A 単元 ・自由に記述された随筆を読んで、当時の人々の生活感覚や興味の対象を知り、ものの見方・考え方を理解する。 ・随筆という文章の種類を踏まえて、内容や展開を的確に捉える。 ・作品に表れているものの見方や考え方を捉え、内容を解釈する。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・「歴史の窓」と読み合わせて、作品の歴史的・文化的背景を理解する。 ・主として形容詞・形容動詞の活用と助動詞について、文語のきまりを理解する。 ・「春は、あけぼの」「うつくしきもの」では、時間の経過による言葉の変化について理解する。	・枕草子 〔歴史の窓〕			○	【知識及び技能】 ・我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや古典特有の表現などについて理解を深めている。 ・時間の経過による言葉の変化について理解を深め、古典の言葉と現代の言葉とのつながりについて理解を深めている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。 ・「読むこと」において、作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・学習の見通しをもって随筆のさまざまな文体や取り上げられた対象に触れ、進んで解釈を深めようとしている。 ・作品に表れたものの見方・考え方や美意識を積極的に理解し、学習課題に沿って自分の考えを伝え合おうとしている。	○	○	○	5
	B 単元 ・『枕草子』とは異なる思索的な随筆を読んで、作者の批判的精神が提示する事柄を具体的に読み解く。 ・随筆という文章の種類を踏まえて、内容や展開を的確に捉える。 ・作品に表れているものの見方や考え方を捉え、内容を解釈する。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・「歴史の窓」と読み合わせて、作品の歴史的・文化的背景を理解する。 ・文語のきまりを理解する。	・徒然草 〔歴史の窓〕			○	【知識及び技能】 ・我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解を深めている。 ・古典の世界に親しむために、作品の歴史的・文化的背景などに理解を深めている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。 ・「読むこと」において、作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。 ・「読むこと」において、文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・各章段の構成・展開や表現の仕方などの特徴を理解し、学習の見通しをもって評価しようとしている。 ・本文中に表れた作者の批判・教訓・感動などを積極的に読み取り、考えたことを伝え合おうとしている。	○	○	○	8
	定期考査						○	○		1

	C 単元 ・我が国の言語文化についての理解を深めるために、古典としての漢文を読むことの意義を知る。 ・我が国の文化と外国の文化との関係について理解する。 ・漢文を訓読するための基礎知識として、返り点の種類と使い方を習得する。 ・漢文を訓読するための基礎知識として、助字のはたらきと意味を習得する。 ・漢文を訓読するための基礎知識として、再読文字の種類と読み方を習得する。 ・故事成語や格言に多く触れることにより、語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・我が国の文化と外国の文化との関係について理解する。 ・訓読のきまりを理解する。	・漢文の学習 ・訓読に親しむ 漢文を読むために			○	【知識及び技能】 ・我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解を深めている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・「読むこと」において、文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・これからの学習に見通しをもって、漢文訓読の基礎知識を積極的に身につけようとしている。 ・日常的に使う故事成語や格言の量を積極的に増やし、漢文が我が国の言語文化と不可分の関係にあることを理解しようとしている。	○	○	○	8
	D 単元 ・漢文の訓読に慣れるとともに、現在使われている言葉が漢文に由来することを知る。 ・文章の種類を踏まえて、たとえ話を読み解き、内容や展開を的確に捉える。 ・作品に表れているものの見方や考え方を捉え、内容を解釈する。 ・作品の歴史的・文化的背景を理解する。 ・訓読のきまりを理解する。 ・故事成語の由来となった話を読み、古典の言葉と現代の言葉とのつながりについて理解する。	・五十歩百歩 ・矛盾 ・蛇足			○	【知識及び技能】 ・我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。 ・「読むこと」において、文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・故事成語の由来となった話を積極的に読み、わかった内容を工夫してまとめようとしている。	○	○	○	7
	定期考査						○	○		1
3学期	A 単元 ・下人の行動や心理をもとに場面の展開を捉え、老婆の語る論理が下人の決断に与えた影響を読み取る。 ・小説という文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などを的確に捉える。 ・作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈する。 ・作品の成立した背景を踏まえて、内容の解釈を深める。 ・常用漢字を文や文章の中で活用する。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・読書の意義と効用を理解する。	・羅生門（芥川龍之介） 文学のしるべ			○	【知識及び技能】 ・常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使用している。 ・我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・我が国の言語文化への理解につながる読書の意義と効用について理解を深めている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。 ・「読むこと」において、作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。 ・「読むこと」において、作品の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深めている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・登場人物の行動や心理を粘り強く読み解き、内容や展開を捉えようとしている。 ・老婆の語る論理を、叙述を基に読み解き、下人がどのように判断したか、説明しようとしている。 ・典拠となった『今昔物語集』の説話と粘り強く読み比べ、作者の工夫をまとめようとしている。	○	○	○	5
	B 単元 ・折句を用いて、感じたことを短歌で表す。 ・我が国の言語文化に特徴的な表現の技法とその効果について理解する。	・〔言語活動〕　折句を用いて短歌を作る		○	○	【知識及び技能】 ・本歌取りや見立てなどの我が国の言語文化に特徴的な表現の技法とその効果について理解している。 ・我が国の言語文化の特質について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・「書くこと」において、適切な題材を決め、集めた材料のよさや味わいを吟味して、表現したいことを明確にしている。 ・「書くこと」において、自分の体験や思いが効果的に伝わるよう、折句を用いて表現の仕方を工夫している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・進んで折句の技法と伝統を理解し、学習課題に沿って折句を用いて短歌を創作しようとしている。	○	○	○	8
	定期考査						○	○		1

年間授業計画

高等学校 令和６年度（１学年用） 教科　　地理歴史　　科目 地理総合

教　科：　地理歴史　　科　目：　地理歴史　　単位数：　3　単位

対象学年組：第　１学年　１組

教科担当者：（１組：田中　）　（　組：　　）　（　組：　　）　（　組：　　）　（　組：　　）　（　組：　　）

使用教科書：（ 高等学校新地理総合 ）

教科　地理歴史　　の目標：

【知識及び技能】 現代世界の地域的特色と日本及び世界の歴史の展開に関して理解するとともに，調査や諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 地理や歴史に関わる事象の意味や意義，特色や相互の関連を，概念などを活用して多面的・多角的に考察したり，社会に見られる課題の解決に向けて構想したりする力や，考察，構想したことを効果的に説明したり，それらを基に議論したりする力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 地理や歴史に関わる諸事象について，よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに，多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚，我が国の国土や歴史に対する愛情，他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

科目　地理総合　　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
地理に関わる諸事象に関して，世界の生活文化の多様性や，防災，地域や地球的課題への取組などを理解するとともに，地図や地理情報システムなどを用いて，調査や諸資料から地理に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。	地理に関わる事象の意味や意義，特色や相互の関連を，位置や分布，場所，人間と自然環境との相互依存関係，空間的相互依存作用，地域などに着目して，概念などを活用して多面的・多角的に考察したり，　地理的な課題の解決に向けて構想したりする力や，考察，構想した	地理に関わる諸事象について，よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究，解決しようとする態度を養うとともに，多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚，我が国の国土に対する愛情，世界の諸地域の多様な生活文化を尊重しようとすることの大切さについての自覚などを深める。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	第１部 地図でとらえる現代世界 中学校までの学習成果を踏まえ，現代世界の地域構成を主な学習対象とし，その結び付きを地図や GIS を用いて捉える学習などを通して，汎用的な地理的技能を習得する。	第１章 地図と地理情報システム	【知識・技能】 日常生活の中でみられるさまざまな地図の読図などを基に，地図や地理情報システムの役割や有用性などについて理解している。 現代世界のさまざまな地理情報について，地図や地理情報システムなどを用いて，その情報を収集し，読み取り，まとめる基礎的・基本的な技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 地図や地理情報システムについて，位置や範囲，縮尺などに着目して，目的や用途，内容，適切な活用の仕方などを多面的・多角的に考察し，表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 地図や地理情報システムについて，よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究，解決しようとしている。	○	○	○	8
		第２章 結び付きを深める現代世界	【知識・技能】 現代世界の地域構成を示したさまざまな地図の読図などを基に，方位や時差，日本の位置と領域，国内や国家間の結び付きについて理解している。 【思考・判断・表現】 現代世界の地域構成について，位置や範囲などに着目して，主題を設定し，世界的視野から見た日本の位置，国内や国家間の結び付きなどを多面的・多角的に考察し，表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 現代世界の地域構成について，よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究，解決しようとしている。	○	○	○	10
	定期考査			○	○	○	1
	第２部 国際理解と国際協力 「地図や地理情報システムで捉える現代世界」の学習成果を踏まえ，世界の特色ある生活文化と地球的課題を主な学習対象とし，特色ある生活文化と地理的環境との関わりや地球的課題の解決の方向性を捉える学習などを通して，国際理解や国際協力の重要性を認識する。	第１章 生活文化の多様性と国際理解 第１節 世界の地形と人々の生活	【知識・技能】 世界の人々の特色ある生活文化を基に，人々の生活文化が地理的環境から影響を受けたり，影響を与えたりして多様性をもつことや，地理的環境の変化によって変容することなどについて理解している。 世界の人々の特色ある生活文化を基に，自他の文化を尊重し国際理解を図ることの重要性などについて理解している。 【思考・判断・表現】 世界の人々の生活文化について，その生活文化がみられる場所の特徴や自然及び社会的条件との関わりなどに着目して，主題を設定し，多様性や変容の要因などを多面的・多角的に考察し，表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 生活文化の多様性と国際理解について，よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究，解決しようとしている。	○	○	○	12
		第２節 世界の気候と人々の生活	【知識・技能】 世界の人々の特色ある生活文化を基に，人々の生活文化が地理的環境から影響を受けたり，影響を与えたりして多様性をもつことや，地理的環境の変化によって変容することなどについて理解している。 世界の人々の特色ある生活文化を基に，自他の文化を尊重し国際理解を図ることの重要性などについて理解している。 【思考・判断・表現】 世界の人々の生活文化について，その生活文化がみられる場所の特徴や自然及び社会的条件との関わりなどに着目して，主題を設定し，多様性や変容の要因などを多面的・多角的に考察し，表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 生活文化の多様性と国際理解について，よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究，解決しようとしている。	○	○	○	8
	定期考査			○	○	○	1
2学		第３節 世界の言語・宗教と人々の生活	【知識・技能】 世界の人々の特色ある生活文化を基に，人々の生活文化が地理的環境から影響を受けたり，影響を与えたりして多様性をもつことや，地理的環境の変化によって変容することなどについて理解している。 世界の人々の特色ある生活文化を基に，自他の文化を尊重し国際理解を図ることの重要性などについて理解している。 【思考・判断・表現】 世界の人々の生活文化について，その生活文化がみられる場所の特徴や自然及び社会的条件との関わりなどに着目して，主題を設定し，多様性や変容の要因などを多面的・多角的に考察し，表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 生活文化の多様性と国際理解について，よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究，解決しようとしている。	○	○	○	12
		第４節 歴史的背景と人々の生活 第５節 世界の産業と人々の生活	【知識・技能】 世界の人々の特色ある生活文化を基に，人々の生活文化が地理的環境から影響を受けたり，影響を与えたりして多様性をもつことや，地理的環境の変化によって変容することなどについて理解している。 世界の人々の特色ある生活文化を基に，自他の文化を尊重し国際理解を図ることの重要性などについて理解している。 【思考・判断・表現】 世界の人々の生活文化について，その生活文化がみられる場所の特徴や自然及び社会的条件との関わりなどに着目して，主題を設定し，多様性や変容の要因などを多面的・多角的に考察し，表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 生活文化の多様性と国際理解について，よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究，解決しようとしている。	○	○	○	12
	定期考査			○	○	○	1

期		第２章 地球的課題と国際協力 第１節 複雑に絡み合う地球的課題 第２節 地球環境問題 第３節 資源・エネルギー問題	【知識・技能】 世界各地でみられる地球環境問題，資源・エネルギー問題，人口・食料問題及び居住・都市問題などを基に，地球的課題の各地で共通する傾向性や課題相互の関連性などについて大観し理解している。 世界各地でみられる地球環境問題，資源・エネルギー問題，人口・食料問題及び居住・都市問題などを基に，地球的課題の解決には持続可能な社会の実現を目指した各国の取り組みや国際協力が必要であることなどについて理解している。 【思考・判断・表現】 世界各地でみられる地球環境問題，資源・エネルギー問題，人口・食料問題及び居住・都市問題などの地球的課題について，地域の結び付きや持続可能な社会づくりなどに着目して，主題を設定し，現状や要因，解決の方向性などを多面的・多角的に考察し，表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 地球的課題と国際協力について，よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究，解決しようとしている。	○	○	○	14
		第４節 人口問題 第５節 食糧問題 第６節 都市・居住問題	【知識・技能】 世界各地でみられる地球環境問題，資源・エネルギー問題，人口・食料問題及び居住・都市問題などを基に，地球的課題の各地で共通する傾向性や課題相互の関連性などについて大観し理解している。 世界各地でみられる地球環境問題，資源・エネルギー問題，人口・食料問題及び居住・都市問題などを基に，地球的課題の解決には持続可能な社会の実現を目指した各国の取り組みや国際協力が必要であることなどについて理解している。 【思考・判断・表現】 世界各地でみられる地球環境問題，資源・エネルギー問題，人口・食料問題及び居住・都市問題などの地球的課題について，地域の結び付きや持続可能な社会づくりなどに着目して，主題を設定し，現状や要因，解決の方向性などを多面的・多角的に考察し，表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 地球的課題と国際協力について，よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究，解決しようとしている。	○	○	○	8
	定期考査			○	○	○	1
3学期	第３部 持続可能な地域づくりと私たち 「地図や地理情報システムで捉える現代世界」及び「国際理解と国際協力」の学習成果を踏まえ，国内外の防災や生活圏の地理的な課題を主な学習対象とし，地域性を踏まえた課題解決に向けた取組の在り方を構想する学習などを通して，持続可能な地域づくりを展望する。	第１章 自然環境と防災 第１節 日本の自然環境 第２節 地震・津波と防災 第３節 火山災害と防災	【知識・技能】 我が国をはじめ世界でみられる自然災害や生徒の生活圏でみられる自然災害を基に，地域の自然環境の特色と自然災害への備えや対応との関わりとともに，自然災害の規模や頻度，地域性を踏まえた備えや対応の重要性などについて理解している。 さまざまな自然災害に対応したハザードマップや新旧地形図をはじめとする各種の地理情報について，その情報を収集し，読み取り，まとめる地理的技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 地域性を踏まえた防災について，自然及び社会的条件との関わり，地域の共通点や差異，持続可能な地域づくりなどに着目して，主題を設定し，自然災害への備えや対応などを多面的・多角的に考察し，表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 自然環境と防災について，よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究，解決しようとしている。	○	○	○	10
		第４節 気象災害と防災 第５節 自然災害への備え 第２章 生活圏の調査と地域の展望 第１節 生活圏の調査と地域の展望	【知識・技能】 我が国をはじめ世界でみられる自然災害や生徒の生活圏でみられる自然災害を基に，地域の自然環境の特色と自然災害への備えや対応との関わりとともに，自然災害の規模や頻度，地域性を踏まえた備えや対応の重要性などについて理解している。 さまざまな自然災害に対応したハザードマップや新旧地形図をはじめとする各種の地理情報について，その情報を収集し，読み取り，まとめる地理的技能を身に付けている。 生活圏の調査を基に，地理的な課題の解決に向けた取り組みや探究する手法などについて理解している。 【思考・判断・表現】 地域性を踏まえた防災について，自然及び社会的条件との関わり，地	○	○	○	10
	定期考査			○	○	○	1

年間授業計画

高等学校 令和６年度（１学年用） 教科　　公民　　科目 公共

教　科：　公民　　科　目：　公共　　単位数：　2　単位

対象学年組：第　１学年　１組

教科担当者：（１組：佐藤　）　（　組：　　）　（　組：　　）　（　組：　　）　（　組：　　）　（　組：　　）

使用教科書：（ 高等学校　公共(帝国書院)　　）

教科　公民　　の目標：

【知識及び技能】政治・経済などに関わる現代の諸課題について理解するとともに、諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身につける。

【思考力、判断力、表現力等】多面的・多角的に考察したり、解決に向けて公正に判断したりする力や、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、人間としての在り方生き方についての自覚や、平和のために各国民が協力し合うことについて自覚を深める。

科目　公共　　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
現代の諸課題を捉え考察し，選択・判断するための手掛かりとなる概念や理論について理解するとともに，諸資料から，倫理的主体などとして活動するために必要となる情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。	現実社会の諸課題の解決に向けて，選択・判断の手掛かりとなる考え方や公共的な空間における基本的原理を活用して，事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断する力や，合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論する力を養う。	よりよい社会の実現を視野に，現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに，多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される，現代社会に生きる人間としての在り方生き方についての自覚や，公共的な空間に生き国民主権を担う公民として，自国を愛し，その平和と繁栄を図ることや，各国が相互に主権を尊重し，各国民が協力し合うことの大切さについての自覚などを深める。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	第 1 章 公共的な空間における人間としてのあり方生き方 　公共的な空間における人間としての在り方生き方について主体的に考えることができている。	第 1 節 西洋近現代の思想 第 2 節 現代の諸課題と倫理	・地球環境問題，資源・エネルギー問題，生命科学や情報技術の進展などの事象について理解できている。 ・公共的な空間における人間としての在り方生き方を考察するための選択・判断の手掛かりが考察できている。 ・選択・判断の手掛かりとなる考え方を使って，現代の諸課題を主体的に追究できている	○	○	○	5
	第 2 章 公共的な空間における基本原理 　人間の尊厳や日本国憲法の基礎を理解し、自らの生き方と結びつけることができる。	第 1 節 民主社会の基本原理	・人間の尊厳と平等，個人の尊重，民主主義，法の支配，自由・権利と責任・義務など，公共的な空間における基本的原理について理解できている。 ・このような基本的原理を考察することによって，個人と社会との関わりを多面的・多角的に考察することができている。 ・民主政治が自らの生活とかかわっていることを理解し，民主社会に主体的に生きる人間のあり方生き方について思索を深められている。	○	○	○	8
	定期考査			○	○	○	1
	第 2 章 公共的な空間における基本原理 　人間の尊厳や日本国憲法の基礎を理解し、自らの生き方と結びつけることができる。	第 2 節 日本社会の基本原理	・日本国憲法の基本原理や保障されている権利が理解できている。 ・日本国憲法の基礎にある考え方に着目し，公共的な空間における基本的原理との関連を考察することができている。 ・日本国憲法で保障されている権利が理解でき，自らの生き方と権利を結びつけることができている。	○	○	○	8
	第 3 章 ルールをつくり守る私たち 　公正な裁判について理解し、その意義を考えることができる。	第 1 節 法と契約 第 2 節 司法参加の意義	・公正な裁判には司法権の独立が必要であり，国民の参加が大切であることが理解できている。 ・裁判員制度がどのような目的で創設されたか考察できている。 ・裁判によって国民のどのような権利が守られているのか考察できている。 ・模擬裁判などを通して，司法に関心を持ち裁判員制度の意義をふまえ積極的に参画する自覚を持つことができている。	○	○	○	7
	定期考査			○	○	○	1
	第 4 章 政治に参加する私たち 　国内政治や国際政治の仕組みや現状、その課題について考え、考察することができる。	第 1 節 政治参加と民主政治の課題	・地方自治や選挙の仕組み，政党の役割を考察することによって具体的に民主政治を支える制度を理解できている。 ・選挙制度の違いによって，政党制にも大きな違いがでてくることを考察できている。 ・自分が理想とする選挙制度を選択することができる。 ・模擬投票などを通して，選挙に積極的に参加するなど主権者としての自覚を持つことができている。	○	○	○	5

2学期	第 4 章 政治に参加する私たち 　国内政治や国際政治の仕組みや現状、その課題について考え、考察することができる。	第 2 節 国際政治の動向	・国際法の意義や国際紛争を解決する機関の役割が理解できている。 ・国際連盟・国際連合の組織と役割が理解できている。 ・冷戦の成立とその終結後の国際政治の流れが理解できている。 ・集団的安全保障がなぜ有効なのか考察できている。 ・国連の現状と課題について考察できている。 ・日々報道される世界の国際紛争に関心が持てている。 ・それぞれの紛争の解決への筋道は何か提示することができている。	○	○	○	8
	定期考査			○	○	○	1
	第 4 章 政治に参加する私たち 　国内政治や国際政治の仕組みや現状、その課題について考え、考察することができる。	第 3 節 国際政治の課題と日本の役割	・国際社会の中で平和主義を掲げる日本の役割が理解できている。 ・核軍拡から核軍縮への流れ ・現代の世界の紛争や人権問題について理解できている。 ・留学生や国際 NGO と接することにより，国際化を身近に体験し，国際社会の諸問題について判断できている。 ・国際問題について自分なりの意見を持ち，他者に説明できている。 ・民族紛争や難民問題など国際政治問題について日常から関心を持てている。 ・留学生や国際 NGO と接することにより，国際化を身近に体験し，国際社会の諸問題について主体的に追究できている。	○	○	○	8
	第 5 章 経済活動を行う私たち 　経済の仕組みや経済体制とその課題について理解し、考察することができる。	第 1 節 経済のしくみと産業の変化 第 2 節 市場経済のしくみと金融	・市場経済のメカニズムが理解できている。 ・各種経済指標を理解し，その指標の動向を読み解くことができている。 ・金融のしくみを理解し，経済状況に応じて適切な手段を提示できている。 ・需給曲線を使って，どのような場合に価格が変動するのか考察できている。 ・GDP が大きいことが豊かさにつながるのかどうか，豊かさについて自分なりに判 断できている。 ・商品の価格は需給関係によって変動するものもあることを理解し，合理的は消費行動がとれている。 ・超低金利時代に生きる一員として，今後の経済設計がきちんとたてられている。	○	○	○	7
	定期考査			○	○	○	1
3学期	第 5 章 経済活動を行う私たち 　経済の仕組みや経済体制とその課題について理解し、考察することができる。	第 3 節 財政と社会保障	・政府が経済に果たしている役割を理解できている。 ・財政のしくみを理解し，経済状況に応じて適切な手段を提示できている。 ・社会保障について理解できている。 ・自身の老後生活を予想し，租税（支払い）と社会保障（受取り）とのバランスを考察できている。 ・日本の経済について課題を発見し，解決する見通しが持てている。	○	○	○	5
	第 5 章 経済活動を行う私たち 　経済の仕組みや経済体制とその課題について理解し、考察することができる。	第 4 節 国際経済の動向と課題	・貿易や外国為替相場について，そのしくみが理解できている。 ・戦後の国際経済の流れが理解できている。 ・発展途上国の現状を知り，貧困や飢餓などの原因や課題を理解できている。 ・経済のグローバル化と相互依存関係が深まっていることを理解し，それが日本経済にどのような影響を及ぼ しているかを考察できている。 ・自分たちの日常生活が国際経済と不可分であることを自覚できている。 ・格差のある国際社会で，その克服のために自らがどのようなことができるか考え，実行しようという意欲を持つことができている。	○	○	○	8
	定期考査			○	○	○	1

年間授業計画

高等学校 令和6年度（１学年用） 教科　　数学　　科目 数学Ⅰ

教　科：　数学　　科　目：　数学Ⅰ　　単位数：　3　単位

対象学年組：第　１学年　　１組

教科担当者：（１組：瀧澤・宮崎）　（　組：　　）　（　組：　　）（　組：　　）（　組：　　）

使用教科書：（ 新編数学Ⅰ　数研出版　　）

【知識及び技能】数学における基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに，事象を数学化したり，数学的に解釈したり，数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】数学を活用して事象を論理的に考察する力，事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に考察する力，数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとする態度，粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度，問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

科目　数学Ⅰ　　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
数と式，図形と計量，二次関数及びデータの分析についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに，事象を数学化したり，数学的に解釈したり，数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。	命題の条件や結論に着目し，数や式を多面的にみたり目的に応じて適切に変形したりする力，図形の構成要素間の関係に着目し，図形の性質や計量について論理的に考察し表現する力，関数関係に着目し，事象を的確に表現してその特徴を表，式，グラフを相互に関連付けて考察する力，社会の事象などから設定した問題について，データの散らばりや変量間の関係などに着目し，適切な手法を選択して分析を行い，問題を解決したり，解決の過程や結果を批判的に考察し判断したりする力を養う。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度，粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度，問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	式を，目的に応じて1つの文字に着目して整理したり，1つの文字におき換えたりするなどして既に学習した計算の方法と関連付けて，多面的に捉えたり，目的に応じて適切に変形したりする力を培う。	第１章第１節　式の計算	【知識・技能】 ・展開の公式、因数分解の公式を利用できる。 【思考・判断・表現】 ・複雑な式についても，項を組み合わせる，降べきの順に整理するなどして見通しをよくすることで，因数分解をすることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・式の変形，整理などの工夫において，よりよい方法を考察しようとする。	○	○	○	8
	中学校までに取り扱ってきた数を実数としてまとめ，数の体系についての理解を深める。その際，実数が四則演算に関して閉じていることや，直線上の点と1対1に対応していることなどについて理解するとともに，簡単な無理数の四則計算ができるようにする。	第１章第２節　実数	【知識・技能】 ・有理数，無理数，実数の定義を理解し，それぞれの範囲での四則計算の可能性について理解している。 【思考・判断・表現】 ・実数を数直線上の点の座標として捉えられる。また，実数の大小関係と数直線を関係づけて考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・今まで学習してきた数の体系について整理し，考察しようとする。	○	○	○	10
	定期考査			○	○		1
	不等式の解の意味や不等式の性質について理解するとともに，不等式の性質を基に1次不等式を解く方法を考察したり，具体的な事象に関連した課題の解決に1次不等式を活用したりする力を培う。	第１章第３節　１次不等式	【知識・技能】 ・不等式の性質を理解している。 ・不等式における解の意味を理解し，1次不等式や連立不等式を解くことができる。 【思考・判断・表現】 ・身近な問題を1次不等式の問題に帰着させ，問題を解決することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・日常的な事象に1次不等式が活用できることに関心をもち，考察しようとする。	○	○	○	10
	集合と命題に関する基本的な概念を理解し，それを事象の考察に活用できるようにする。	第２章　集合と命題	【知識・技能】 ・必要条件，十分条件，必要十分条件，同値の定義を理解している。 ・命題の逆・対偶・裏の定義と意味を理解し，それらの真偽を調べることができる。 【思考・判断・表現】 ・命題の真偽を，集合の包含関係に結び付けてとらえることによって考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・条件を満たすものの集合の包含関係が，命題の真偽に関連していることに着目し，命題について調べようとする態度がある。	○	○	○	10
	定期考査			○	○		1
2学期	2次関数の値の変化やグラフの特徴を理解するとともに，2次関数の式とグラフとの関係について，コンピュータなどの情報機器を用いてグラフをかくなどして多面的に考察する。	第３章第１節　２次関数とそのグラフ	【知識・技能】 ・平方完成を利用して，2次関数 y=〖ax〗^2+bx+c のグラフの軸と頂点を調べ，グラフをかくことができる。 【思考・判断・表現】 ・2次関数の特徴について，表，式，グラフを相互に関連付けて多面的に考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・一般の2次関数 y=〖ax〗^2+bx+c について，頂点，軸の式を考察しようとする。	○	○	○	10
	2次関数のグラフを通して関数の値の変化を考察し，2次関数の最大値や最小値を求めることができるようにする。	第３章第２節　２次関数の最大・最小	【知識・技能】 ・2次関数の定義域に制限がある場合に，最大値，最小値を求めることができる。 ・2次関数の決定において，与えられた条件を関数の式に表現し，2次関数を決定することができる。 【思考・判断・表現】 ・具体的な事象の最大・最小の問題を，2次関数を用いて表現し，処理することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・日常生活における具体的な事象の考察に，2次関数の最大・最小の考えを活用しようとする。	○	○	○	10
	定期考査			○	○		1
	2次方程式や2次不等式の解と2次関数のグラフとの関係について理解し，2次関数のグラフを用いて2次不等式の解を求められるようにする。	第３章第３節　２次方程式と２次不等式	【知識・技能】 ・2次方程式の解き方として，因数分解，解の公式を理解している。 ・2次不等式を解くことができる。 【思考・判断・表現】 ・2次関数の値の符号と2次不等式の解を相互に関連させて考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・2次不等式を解くときに，図を積極的に利用する。	○	○	○	10

	三角比の意味やその基本的な性質について理解し，三角比の相互関係などを理解できるようにする。 また，日常の事象や社会の事象などを数学的にとらえ，三角比を活用して問題を解決する力を培う。	第４章第１節　三角比	【知識・技能】 ・三角比の定義から，辺の長さを求める関係式を考察することができる。 ・三角比の相互関係を利用して，1つの値から残りの値が求められる。 【思考・判断・表現】 ・具体的な事象を三角比の問題としてとらえることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・日常の事象や社会の事象などに三角比を活用しようとする。	○	○	○	10
	定期考査			○	○		1
3学期	図形の構成要素間の関係を，三角比を用いて表現し定理や公式を導く力，日常の事象や社会の事象などを数学的にとらえ，正弦定理，余弦定理などを活用して問題を解決したりする力などを培う。	第４章第２節　三角形への応用	【知識・技能】 ・余弦定理や正弦定理を用いて，三角形の残りの辺の長さや角の大きさを求めることができる。 【思考・判断・表現】 ・三角形の面積を，決定条件である2辺とその間の角または3辺から求めることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・正弦定理の図形的意味を考察する。また，三角形の外接円，円周角と中心角の関係などから，正弦定理を導こうとする。 ・余弦定理の図形的意味を考察する。また，三平方の定理をもとに余弦定理を導こうとする。	○	○	○	10
	データの散らばり具合や傾向を数値化する方法を考察する力，目的に応じて複数の種類のデータを収集し，適切な統計量やグラフ，手法などを選択して分析を行い，データの傾向を把握して事象の特徴を表現する力，不確実な事象の起こりやすさに着目し，主張の妥当性について，実験などを通して判断したり，批判的に考察したりする力などを養う。	第５章　データの分析	【知識・技能】 ・箱ひげ図をかき，データの分布を比較することができる。 【思考・判断・表現】 ・変量の変換によって，平均値や標準偏差がどのように変化するかを考察することができ，それらの性質を活用して平均値や分散を見通しよく計算することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・データの散らばりの度合いをどのように数値化するかを考察しようとする。	○	○	○	13
	定期考査			○	○		1

年間授業計画

高等学校 令和6年度（１学年用） 教科　数学　　科目 数学A

教　科：　数学　　科　目：　数学A　　単位数：　2　単位

対象学年組：第　１学年　１組

教科担当者：（１組：瀧澤・宮崎）　（　組：　）（　組：　）（　組：　）（　組：　）

使用教科書：（ 新編数学A　数研出版 ）

教科　数学　　の目標：

【知識及び技能】数学における基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに，事象を数学化したり，数学的に解釈したり，数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】数学を活用して事象を論理的に考察する力，事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に考察する力，数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとする態度，粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度，問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

科目　数学A　　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
図形の性質，場合の数と確率についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに，数学と人間の活動の関係について認識を深め，事象を数学化したり，数学的に解釈したり，数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。	図形の構成要素間の関係などに着目し，図形の性質を見いだし，論理的に考察する力，不確実な事象に着目し，確率の性質などに基づいて事象の起こりやすさを判断する力，数学と人間の活動との関わりに着目し，事象に数学の構造を見いだし，数理的に考察する力を養う。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度，粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度，問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	場合の数を求めるときの基本的な考え方についての理解を深め，それらを事象の考察に活用できるようにする。	第１章　第１節　場合の数	【知識・技能】 ・順列，円順列，重複順列の公式を理解し利用することができる。 ・組合せの総数を記号で表し，それを活用できる。また，組合せの公式を理解し，利用することができる。 【思考・判断・表現】 ・条件が付く順列，円順列，組合せを，見方を変えたり別なものに対応させたりして処理することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・組合せの考え方を利用して図形の個数や同じものを含む順列の総数などが求められることに興味・関心をもつ。	○	○	○	13
	定期考査			○	○		1
	確率の意味や基本的な法則についての理解を深め，それらを事象の考察に活用できるようにする。	第１章　第２節　確率	【知識・技能】 ・確率の基本性質を理解し，和事象余事象の確率の求め方がわかる ・複雑な反復試行の確率を，公式や加法定理などを用いて求めることができる。 【思考・判断・表現】 ・既習の確率の知識を利用して，反復試行の確率について考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・具体的事象について，反復試行の確率を，興味をもって調べようとする。	○	○	○	15
	定期考査			○	○		1
2学	平面図形の性質についての理解を深め，それらを事象の考察に活用できるようにする。	第２章　第１節　平面図形	【知識・技能】 ・三角形の外心，内心，重心の定義，性質を理解している。 【思考・判断・表現】 ・図形の性質を証明するのに，既習事項を用いて論理的に考察することができる。また，適切な補助線を引いて考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・三角形の外心，内心，重心に関する性質に興味を示し，積極的に考察しようとする。	○	○	○	13
	定期考査			○	○		1

期	平面図形の性質についての理解を深め，それらを事象の考察に活用できるようにする。	第２章　第１節　平面図形	【知識・技能】 ・共通接線の定義を理解し，その長さの求め方がわかる。 【思考・判断・表現】 ・円と直線を動的にとらえて，それらの位置関係を考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・2つの円の位置関係と，中心間の距離と半径の関係を積極的に考察しようとする。	○	○	○	8
	空間図形の性質についての理解を深め，それらを事象の考察に活用できるようにする。	第２章　第２節　空間図形	【知識・技能】 ・正多面体の特徴を理解し，それに基づいて面，頂点，辺の数を求めることができる。 【思考・判断・表現】 ・空間における直線や平面が平行または垂直となるかどうかを，与えられた条件から考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・オイラーの多面体定理がどんな凸多面体でも成り立つかどうか調べてみようとする。	○	○	○	7
	定期考査			○	○		1
3学期	さまざまな人間の活動の中から，整数を中心とした数学的な要素を見出し，数学の内容の理解を深めると同時に，現実の事象を，数学を用いて考察できるような力を培う。	第３章　数学と人間の活動	【知識・技能】 ・互除法の原理を理解し，互除法を用いて2数の最大公約数を求めることができる。 【思考・判断・表現】 ・身近な事象について数学的に捉え，最大公約数・最小公倍数との関係について考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・数学史の話題を通じて，割り算の方法や割り算の余りの性質に興味・関心をもつ。	○	○	○	13
	定期考査			○	○		1

年間授業計画　様式例

高等学校 令和６年度（１学年用） 教科　理科　　科目 生物基礎

教　科：　理科　　科　目：　生物基礎　　単位数：　2　単位

対象学年組：第　１学年　１組～　　組

教科担当者：（１組：加藤　）　（　組：　　）　（　組：　　）　（　組：　　）　（　組：　　）　（　組：　　）

使用教科書：（ 生物基礎（数研出版）　　）

教科　理科　　の目標：

【 知　識　及　び　技　能 】自然の事物・現象についての理解を深め，科学的に探究するために必要な観察，実験などに関する技能を身に

【思考力、判断力、表現力等】観察，実験などを行い，科学的に探究する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】自然の事物・現象に主体的に関わり，科学的に探究しようとする態度を養う。

科目　生物基礎　　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
日常生活や社会との関連を図りながら、生物や生物現象についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。	生物や生物現象から問題を見いだし、見通しをもって観察、実験などを行い、得られた結果を分析して解釈し、表現するなど、科学的に探究している。	生物や生物現象に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	・様々な生物の比較に基づいて，生物は多様でありながら共通性をもっていることを見いだして理解する。 ・生物が共通性を保ちながら進化し多様化してきたこと，共通性は起源の共有に由来することを理解させる。 ・生物は環境からの影響を受けながら存在し，生態系には多様な生物が存在することを理解させる。 ・植生は不変ではなく，光の量や植生をとり巻く環境から影響を受けて変化していくことを理解させる。	第1章1節　生物の多様性と共通性 第4章1節　生態系とその成り立ち 一人一台端末	【知識・技能】 陸上には，森林・草原・砂漠などの多くの植生がみられ，植物をとり巻く環境や構成種により植生が変わっていくことを理解している。 【思考・判断・表現】 資料に基づいて，遷移の要因を見いだして理解することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 資料に基づいて，植生が変化する要因を見いだし，その要因が植生にどのように影響するかを理解しようとする。	○	○	○	5
	・環境形成作用により土壌が形成されることを理解させる。 ・植生内の光環境の変化や土壌の発達によって遷移が進行することを理解させる。 ・気温や降水量の違いにより，地球上には多くのバイオームが成立していることを理解させる。 ・遷移の結果として森林・草原・荒原のバイオームとなることを理解させる。 ・バイオームの構成要素である植物種を取り上げ，その場所の気温や降水量に適応していることを理解させる。	第4章2節　植生とバイオーム 一人一台端末	【知識・技能】 地球上には，気温や降水量ごとにさまざまなバイオームが成立していることを理解している。 【思考・判断・表現】 気温や降水量によって成立するバイオームが異なるのは，バイオームを構成する植物種がその場所の気温や降水量に適応しているためであると考察し，それを表現することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 地球上にはさまざまなバイオームが成立していることを理解しようとする。	○	○	○	8
	定期考査			○	○		1
	・日本のバイオームについても，その構成種とともに理解させる。 ・生態系における生物の種多様性について理解させる。 ・生態系のバランスと，人為的攪乱によりそのバランスが崩れる場合があることを理解させる。 ・生態系の保全の重要性について認識させる。 ・自然環境の保全に寄与する態度を育てる。	第4章3節　生態系と生物の多様性 第4章4節　生態系のバランスと保全 一人一台端末	【知識・技能】 生態系内における種多様性，生物どうしのかかわりあいについて理解している。 【思考・判断・表現】 生態系と生物の多様性に関する観察，実験などから，生態系における生物の種多様性を見いだすことができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 生物が多様であることを，食物網や間接効果と関連付けて説明できる。	○	○	○	8
	・生物に共通する性質は細胞であることを理解させる。また，細胞にも原核細胞と真核細胞があることを細胞の内部構造とともに理解させる。	第1章2節　細胞とエネルギー 一人一台端末	【知識・技能】 ・生物の共通性と多様性について，すべての生物で細胞が共通の構造であることを理解している。 【思考・判断・表現】 ・細胞が生物の基本構造であることを，生物学的な視点から考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・原核細胞と真核細胞について，その細胞に含まれる細胞小器官を基に，違いを理解しようとする。	○	○	○	7
	定期考査			○	○		1
2学	・生命活動に必要なエネルギーと代謝について理解させる。その際，呼吸と光合成の概要を扱う。 ・代謝の反応が行われるときに，酵素がどのように関与しているのか理解させる。 ・光合成や呼吸がATPを合成する反応であることを理解させる。	第1章2節　細胞とエネルギー 一人一台端末	【知識・技能】 ・生命活動に必要なエネルギーを，呼吸や光合成から得ていることを理解している。 【思考・判断・表現】 ・呼吸や光合成からエネルギーを得る方法を，関連づけて考察し，それを表現できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・体内で行われる化学反応は，酵素が関わっていることを理解しようとする。	○	○	○	5
	・DNAの構造や性質を，研究史を展開しながら理解させる。 ・DNA，遺伝子，ゲノムの関係性を理解させる。 ・DNAが体細胞分裂の際に，複製され質・量ともに均等に分配されることにより遺伝情報が伝えられることを理解させる。 ・DNAの複製・分裂は細胞周期にあわせて行われることを理解させる。	第2章1節　遺伝情報とDNA 一人一台端末	【知識・技能】 DNAが二重らせん構造であること，そのため，2本鎖の塩基配列は相補的であることを理解している。 【思考・判断・表現】 DNAの複製を塩基配列と関連付けて説明することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 DNAの性質や構造を，DNAの研究史とともに理解しようとする。	○	○	○	8
	定期考査			○	○		1

期	・さまざまな生命現象にはタンパク質が関わっていることに触れ，それらタンパク質がDNAの遺伝情報に基づいて合成されることを理解させる。 ・DNAからタンパク質が合成される際には，転写・翻訳が行われることを理解させる。 ・すべての遺伝子が細胞内でつねに発現しているわけではないことを理解させる。	第2章2節　遺伝情報とタンパク質の合成 一人一台端末	【知識・技能】 DNAの塩基配列に基づいて，タンパク質が合成されることを理解している。 【思考・判断・表現】 DNAの遺伝情報に基づいてタンパク質が合成される過程を体系的に考察し，表現できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 DNAの塩基配列の情報に基づいて，タンパク質が合成されることを理解しようとする。	○	○	○	8
	・動物が体内環境をもち，外界からの影響を適切に調節していることを理解させる。 ・恒常性により，体内環境が保たれていることを理解させる。 ・体液を調節することで，体内環境が保たれていることを理解させる。	第3章1節　体内環境 一人一台端末	【知識・技能】 体内環境が一定の範囲に保たれることとその意味を理解している。 【思考・判断・表現】 腎臓の働きについて体系的に理解し，ろ過・再吸収のしくみを説明することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 外界の環境が変化しても，体内環境は一定の範囲に保たれていることを理解しようとする。	○	○	○	7
	定期考査			○	○		1
3学期	・体内での情報の伝達が体の調節に関係していることを見いだして理解させる。 ・体内環境の維持とホルモンの働きとの関係を見いだして理解させる。 ・ヒトの体液濃度の調節が，自律神経とホルモンの作用により一定の範囲に保たれていることを理解させる。 ・血糖濃度がホルモンと自律神経が関わるしくみで調節されていることについて理解させ，調節ができなくなったときに発症する疾患についても触れる。	第3章2節　体内環境の維持のしくみ 一人一台端末	【知識・技能】 神経やホルモンの働きにより体内環境が維持されることを理解している。 【思考・判断・表現】 体の調節に関する観察，実験などを行い，体内での情報の伝達が体の調節に関係していることを見いだして理解することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 観察，実験に基づいて，体内での情報の伝達が体の調節に関係していることを見いだし，理解しようとする。	○	○	○	5
	・ヒトには異物を排除する防御機構が備わっていることを見いだして理解させる。 ・免疫のしくみの概要を取り上げ，体液性免疫や細胞性免疫について理解させる。 ・一次応答と二次応答の違いを理解させ，同じ疾患に二度かかりにくい理由を考察させる。 ・ヒトの身近な免疫疾患について理解させる。	第3章3節　免疫 一人一台端末	【知識・技能】 病原体などの異物を認識・排除するしくみを理解している。 【思考・判断・表現】 資料に基づいて，異物を排除する防御機構が備わっていることを見出して理解することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 病原体などの異物を認識・排除するしくみを理解しようとする。	○	○	○	8
	定期考査			○	○		1

年間授業計画

高等学校 令和6年度（１学年用） 教科　　保健体育　　科目 体育

教　科：　保健体育　　科　目：　体育　　単位数：　2　単位

対象学年組：第　１学年　１組

教科担当者：（　1組：谷野　）

使用教科書：（ 大修館　現代高等保健体育　　）

教科　保健体育　　の目標：

【知識及び技能】各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、技能を身に付けるようにする

【思考力、判断力、表現力等】運動や健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

科目　体育　　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
体を動かす楽しさや心地よさを味わい、体つくりの運動の行い方、体力の構成要素、実生活への取り入れ方などを理解するとともに、自己の体力や生活に応じた継続的な運動の計画を立て、実生活に役立てることができるようにする。	生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができるようにする。	公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全を確保することができるようにする。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
	球技（バレーボール） ・勝敗を競ったりチームや自己の課題を解決したりするなどの多様な楽しさや喜びを味わい、技術などの名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、競技会の仕方などを理解するとともに、作戦や状況に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開することができるようにする。 ・生涯にわたって運動を豊かに継続するためのチームや自己の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己やチームの考えたことを他者に伝えることができるようにする。 ・球技に主体的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとすること、合意形成に貢献しようとする こと、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとすること、互いに助け合い高め合おうとすることなどや、健康・安全を確保することができるようにする。	バレーボール	【知識・技能】 　それぞれの技の名称があり、それぞれの技には、技能の向上につながる重要な動きのポイントや安全で合理的、計画的な練習の仕方があることについて、学習した具体例を挙げている。 【思考・判断・表現】 　体力や技能の程度、性別等の違いを超えて、仲間とともに運動を楽しむための調整の仕方を見付けている。 【主体的に学習に取り組む態度】 　自己や仲間の課題に応じた練習計画を見直すなど、互いに助け合い高め合おうとしている。 ・一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとしている。	○	○	○	5
	体つくり運動 ・体を動かす楽しさや心地よさを味わい、運動を継続する意義、体の構造、運動の原則などを理解するとともに、健康の保持増進や体力の向上を目指し、目的に適した運動の計画を立てて取り組むことができるようにする。 ・自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができるようにする。 ・体つくり運動に自主的に取り組むとともに、互いに助け合い教え合おうとすること、一人一人の違いに応じた動きなどを大切にしようとすること、話し合いに貢献しようとすることなどや、健康・安全を確保することができるようにする。	体つくり運動	【知識・技能】 　運動を継続する意義、体の構造、運動の原則などについて理解している。 【思考・判断・表現】 【主体的に学習に取り組む態度】	○	○	○	8
1	定期考査						

学期	ウインドサーフィン ・記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、効率的にウインドサーフィン操作できるようにする ・ウインドサーフィンの操作技術などの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えることができるようにする。 ・ウインドサーフィンに自主的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとすること、自己の責任を果たそうとすること、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとすることなどや、ウインドサーフィンの事故防止に関する心得を遵守するなど健康・安全を確保できるようにする。	ウインドサーフィン	【知識・技能】 ・それぞれの技の名称があり、それぞれの技には、技能の向上につながる重要な動きのポイントや安全で合理的、計画的な練習の仕方があることについて、学習した具体例を挙げている。 【思考・判断・表現】 体力や技能の程度、性別等の違いを超えて、仲間とともに運動を楽しむための調整の仕方を見付けている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・自己や仲間の課題に応じた練習計画を見直すなど、互いに助け合い高め合おうとしている。 ・一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとしている。	○	○	○	8
	ウインドサーフィン ・記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、効率的にウインドサーフィン操作できるようにする ・ウインドサーフィンの操作技術などの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えることができるようにする。 ・ウインドサーフィンに自主的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとすること、自己の責任を果たそうとすること、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとすることなどや、ウインドサーフィンの事故防止に関する心得を遵守するなど健康・安全を確保できるようにする。	ウインドサーフィン	【知識・技能】 ・それぞれの技の名称があり、それぞれの技には、技能の向上につながる重要な動きのポイントや安全で合理的、計画的な練習の仕方があることについて、学習した具体例を挙げている。 【思考・判断・表現】 体力や技能の程度、性別等の違いを超えて、仲間とともに運動を楽しむための調整の仕方を見付けている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・自己や仲間の課題に応じた練習計画を見直すなど、互いに助け合い高め合おうとしている。 ・一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとしている。	○	○	○	7
	定期考査						
	ウインドサーフィン ・記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、効率的にウインドサーフィン操作できるようにする ・ウインドサーフィンの操作技術などの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えることができるようにする。 ・ウインドサーフィンに自主的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとすること、自己の責任を果たそうとすること、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとすることなどや、ウインドサーフィンの事故防止に関する心得を遵守するなど健康・安全を確保できるようにする。	ウインドサーフィン	【知識・技能】 ・それぞれの技の名称があり、それぞれの技には、技能の向上につながる重要な動きのポイントや安全で合理的、計画的な練習の仕方があることについて、学習した具体例を挙げている。 【思考・判断・表現】 体力や技能の程度、性別等の違いを超えて、仲間とともに運動を楽しむための調整の仕方を見付けている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・自己や仲間の課題に応じた練習計画を見直すなど、互いに助け合い高め合おうとしている。 ・一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとしている。	○	○	○	5

2学期	ウインドサーフィン ・記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、効率的にウインドサーフィン操作できるようにする ・ウインドサーフィンの操作技術などの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えることができるようにする。 ・ウインドサーフィンに自主的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとすること、自己の責任を果たそうとすること、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとすることなどや、ウインドサーフィンの事故防止に関する心得を遵守するなど健康・安全を確保できるようにする。	ウインドサーフィン	【知識・技能】 ・それぞれの技の名称があり、それぞれの技には、技能の向上につながる重要な動きのポイントや安全で合理的、計画的な練習の仕方があることについて、学習した具体例を挙げている。 【思考・判断・表現】 体力や技能の程度、性別等の違いを超えて、仲間とともに運動を楽しむための調整の仕方を見付けている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・自己や仲間の課題に応じた練習計画を見直すなど、互いに助け合い高め合おうとしている。 ・一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとしている。	○	○	○	8
	定期考査						
	ダンス ・リズムの特徴を捉え，変化とまとまりを付けて，リズムに乗って全身で踊ること。 ・表現などの自己や仲間の課題を発見し，合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに，自己や仲間の考えたことを他者に伝えること。 ・ダンスに自主的に取り組むとともに，互いに助け合い教え合おうとすること，作品や発表などの話合いに貢献しようとすること，一人一人の違いに応じた表現や役割を大切にしようとすることなどや，健康･安全を確保すること。	ダンス	【知識・技能】 ･ダンスには，身体運動や作品創作に用いられる名称や用語があること。 ･それぞれの踊りには，その踊りの特徴と表現の仕方があること。･リズムの取り方や動きの連続のさせ方を組み合わせて，動きに変化を付けて踊ること。 ･リズムや音楽に合わせて，独自のリズムパターンや動きの連続や群の構成でまとまりを付けて踊ること。 【思考・判断・表現】 それぞれのダンスに応じて，表したいテーマにふさわしいイメージや，踊りの特徴を捉えた表現の仕方を見付けること。 【主体的に学習に取り組む態度】 ダンスの学習に自主的に取り組もうとすること。 ･仲間に課題を伝え合ったり教え合ったりして，互いに助け合い教え合おうとすること。	○	○	○	8
	器械運動 ・技ができる楽しさや喜びを味わい，技の名称や行い方，運動観察の方法，体力の高め方などを理解するとともに，自己に適した技で演技すること。 ・技などの自己や仲間の課題を発見し，合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに，自己の考えたことを他者に伝えること。 ・器械運動に自主的に取り組むとともに，よい演技を讃えようとすること，互いに助け合い教え合おうとすること，一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとすることなどや，健康･安全を確保すること。	マット運動	【知識・技能】 ・回転系や巧技系の基本的な技とは，回転系の接転技群，ほん転技群の基本的な技，巧技系の平均立ち技群の基本的な技を示している。 【思考・判断・表現】 ･選択した技の行い方や技の組合せ方について，合理的な動きと自己や仲間の動きを比較して，成果や改善すべきポイントとその理由を仲間に伝えること。 【主体的に学習に取り組む態度】 ･器械運動の学習に自主的に取り組もうとすること。 たた ･自己の状況にかかわらず，互いに讃え合おうとすること。	○	○	○	7
	定期考査						

3学期	陸上競技（持久走） ・記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、各種目特有の技能を身に付ける。 ・動きなどの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えることができるようにする。 ・陸上競技に主体的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとすること、自己の責任を果たそうとすること、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとすることなどや、健康・安全を確保することができるようにする。	持久走	【知識・技能】 記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、各種目特有の技能を身に付けようとしている。 【思考・判断・表現】 動きなどの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えることができるようにしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 陸上競技に主体的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとすること、自己の責任を果たそうとすること、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとすることなどや、健康・安全を確保することができるようにしている。	○	○	○	5
	球技（タッチラグビー） ・勝敗を競ったりチームや自己の課題を解決したりするなどの多様な楽しさや喜びを味わい、技術などの名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、競技会の仕方などを理解するとともに、作戦や状況に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開することができるようにする。 ・生涯にわたって運動を豊かに継続するためのチームや自己の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己やチームの考えたことを他者に伝えることができるようにする。 ・球技に主体的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとすること、合意形成に貢献しようとすること、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとすること、互いに助け合い高め合おうとすることなどや、健康・安全を確保することができるようにする。	タッチラグビー	【知識・技能】 それぞれの技の名称があり、それぞれの技には、技能の向上につながる重要な動きのポイントや安全で合理的、計画的な練習の仕方があることについて、学習した具体例を挙げている。 【思考・判断・表現】 体力や技能の程度、性別等の違いを超えて、仲間とともに運動を楽しむための調整の仕方を見付けている。 【主体的に学習に取り組む態度】 自己や仲間の課題に応じた練習計画を見直すなど、互いに助け合い高め合おうとしている。 ・一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとしている。	○	○	○	8
	定期考査						

年間授業計画

高等学校 令和6年度（１学年用） 教科　　保健体育　　科目 保健

教　科：　保健体育　　科　目：　保健　　単位数：　1　単位

対象学年組：第　１学年　１組

教科担当者：（　組：谷野　）

使用教科書：（ 大修館　現代高等保健体育　　）

教科　保健体育　　の目標：

【知識及び技能】各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、技能を身に付けるようにする

【思考力、判断力、表現力等】運動や健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

科目　保健　　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるとともに、技能を身に付けるようにする。	健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、目的や状況に応じて他者に伝える力を養う。	生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	1単元　現代社会と健康 ・健康の考え方と成り立ち ・私たちの健康のすがた	・指導事項 ・教材 ・一人１台端末の活用　等	【知識・技能】 我が国の死亡率，受療率，平均寿命，健康寿命など各種の指標や疾病構造の変化を通して国民の健康課題について，理解したことを言ったり書いたりしている。 【思考・判断・表現】 健康の考え方について，健康に関わる原則や概念を基に整理したり，個人及び社会生活と関連付けたりして，自他や社会の課題を発見している。 【主体的に学習に取り組む態度】 健康の考え方について，課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。	○	○	○	5
	1単元　現代社会と健康 ・生活習慣病の予防と回復 ・がんの原因と予防 ・がんの回復と治療	・指導事項 ・教材 ・一人１台端末の活用　等	【知識・技能】 がん，脳血管疾患，虚血性心疾患，高血圧症，脂質異常症，糖尿病などを適宜取り上げ，これらの生活習慣病などのリスクを軽減し予防するには，適切な運動，食事，休養及び睡眠など，調和のとれた健康的な生活を続けることが必要であること，定期的な健康診断やがん検診などを受診することが必要であることについて，理解したことを言ったり書いたりしている。 ・がんは，肺がん，大腸がん，胃がんなど様々な種類があり，生活習慣のみならず細菌やウイルスの感染などの原因もあることについて，理解したことを言ったり書いたりしている。 【思考・判断・表現】 生活習慣病などの予防と回復について，健康に関わる原則や概念を基に整理したり，個人及び社会生活と関連付けたりして，自他や社会の課題を発見している。 生活習慣病などの予防と回復について，習得した知識を基に自他の生活習慣や社会環境を分析し，リスクの軽減と生活の質の向上に必要な個人の取組や社会的な対策を整理している。 生活習慣病などの予防と回復について，自他や社会の課題の解決方法と，それを選択した理由などを話し合ったり，ノートなどに記述したりして，筋道を立てて説明している。 【主体的に学習に取り組む態度】 生活習慣病とその予防について，課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている	○	○	○	8
	定期考査			○	○	○	1
	1単元　現代社会と健康 ・運動と健康 ・食事と健康 ・休養・睡眠と健康	・指導事項 ・教材 ・一人１台端末の活用　等	【知識・技能】 生活習慣病などの予防と回復には，個人の取組とともに，健康診断やがん検診の普及，正しい情報の発信など社会的な対策が必要であることについて，理解したことを言ったり書いたりしている。 【思考・判断・表現】 生活習慣病などの予防と回復について，健康に関わる原則や概念を基に整理したり，個人及び社会生活と関連付けたりして，自他や社会の課題を発見している。 生活習慣病などの予防と回復について，習得した知識を基に自他の生活習慣や社会環境を分析し，リスクの軽減と生活の質の向上に必要な個人の取組や社会的な対策を整理している。 生活習慣病などの予防と回復について，自他や社会の課題の解決方法と，それを選択した理由などを話し合ったり，ノートなどに記述したりして，筋道を立てて説明している。 【主体的に学習に取り組む態度】 生活習慣病とその予防について，課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている	○	○	○	8

	1単元　現代社会と健康 ・喫煙と健康 ・飲酒と健康 ・薬物乱用と健康	・指導事項 ・教材 ・一人１台端末の活用　等	【知識・技能】 　喫煙や飲酒は，生活習慣病などの要因となり心身の健康を損ねること，喫煙や飲酒による健康課題を防止するには，正しい知識の普及，健全な価値観の育成などの個人への働きかけ，及び法的な整備も含めた社会環境への適切な対策が必要であることについて，理解したことを言ったり書いたりしている。 　コカイン，MDMA などの麻薬，覚醒剤，大麻，など，薬物の乱用は，心身の健康，社会の安全などに対して深刻な影響を及ぼすことから，決して行ってはならないことについて，理解したことを言ったり書いたりしている。 　薬物乱用を防止するには，正しい知識の普及，健全な価値観や規範意識の育成などの個人への働きかけ，及び法的な規制や行政的な対応など社会環境への対策が必要であることについて，理解したことを言ったり書いたりしている。 【思考・判断・表現】 　喫煙，飲酒，薬物乱用の防止について，健康に関わる原則や概念を基に整理したり，個人及び社会生活と関連付けたりして，自他や社会の課題を発見している。 　喫煙，飲酒，薬物乱用の防止について，我が国のこれまでの取組を個人への働きかけと社会環境への対策の面から分析したり，諸外国と比較したりして，防止策を評価している。 　喫煙，飲酒，薬物乱用の防止について，自他や社会の課題の解決方法と，それを選択した理由などを話し合ったり，ノートなどに記述したりして，筋道を立てて説明している。 【主体的に学習に取り組む態度】 　喫煙，飲酒，薬物乱用について，課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。	○	○	○	7
	定期考査			○	○	○	1
	1単元　現代社会と健康 ・精神疾患の特徴 ・精神疾患の予防 ・精神疾患からの回復	・指導事項 ・教材 ・一人１台端末の活用　等	【知識・技能】 　精神疾患の例をあげ，発病の要因とおもな症状について説明できる。 　現代社会における精神保健の課題をあげることができる。 【思考・判断・表現】 　精神疾患は，精神機能の基盤となる心理的，生物的，または社会的な機能の障害などが原因となり，認知，情動，行動などの不調により，精神活動が不全になった状態であることについて，理解したことを言ったり書いたりしている。 　うつ病，統合失調症，不安症，摂食障害などは，誰もが罹患しうること，若年で発症する疾患が多いこと，適切な対処により回復し生活の質の向上が可能であることについて，理解したことを言ったり書いたりしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 　精神疾患の予防と回復について，健康に関わる原則や概念を基に整理したり，個人及び社会生活と関連付けたりして，自他や社会の課題を発見している。	○	○	○	5
2学期	1単元　現代社会と健康 ・現代の感染症 ・感染症の予防 ・性感染症・エイズとその予防	・指導事項 ・教材 ・一人１台端末の活用　等	【知識・技能】 　感染症は，時代や地域によって自然環境や社会環境の影響を受け，発生や流行に違いが見られること，その際，交通網の発達により短時間で広がりやすくなっていること，また，新たな病原体の出現，感染症に対する社会の意識の変化等によって，腸管出血性大腸菌（O 157 等）感染症，結核などの新興感染症や再興感染症の発生や流行が見られることについて，理解したことを言ったり書いたりしている。 【思考・判断・表現】 　現代の感染症とその予防について，健康に関わる原則や概念を基に整理したり，個人及び社会生活と関連付けたりして，自他や社会の課題を発見している。 【主体的に学習に取り組む態度】 　現代の感染症とその予防について，課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。	○	○	○	8
	定期考査			○	○	○	1

	1単元　現代社会と健康 ・健康に関する意思決定・行動選択 ・健康に関する環境づくり	・指導事項 ・教材 ・一人１台端末の活用　等	【知識・技能】 　健康を保持増進するには，ヘルスプロモーションの考え方に基づき，適切な意思決定や行動選択により，疾病等のリスクを軽減することを含め，自らの健康を適切に管理することが必要であるとともに，環境づくりが重要であることについて，理解したことを言ったり書いたりしている。 【思考・判断・表現】 　健康の考え方について，健康に関わる原則や概念を基に整理したり，個人及び社会生活と関連付けたりして，自他や社会の課題を発見している。 　国民の健康課題について，我が国の健康水準の向上や疾病構造の変化に関するデータや資料に基づいて分析し，生活の質の向上に向けた課題解決の方法をヘルスプロモーションの考え方を踏まえて整理している。 【主体的に学習に取り組む態度】 健康の考え方について，課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。	○	○	○	8
	2単元　安全な社会生活 ・事故の現状と発生要因 ・安全な社会の形成	・指導事項 ・教材 ・一人１台端末の活用　等	【知識・技能】 　事故の実態と被害の実態について説明できる。 　事故の発生には人的要因と環境要因が関連していることについて例をあげて説明できる。 【思考・判断・表現】 　事故は，地域，職場，家庭，学校など様々な場面において発生していること，事故の発生には，周りの状況の把握及び判断，行動や心理などの人的要因，気象条件，施設・設備，車両，法令，制度，情報体制などの環境要因などが関連していることについて，理解したことを言ったり書いたりしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 　安全な社会づくりについて，課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。	○	○	○	7
	定期考査			○	○	○	1
3学期	2単元　安全な社会生活 ・交通における安全	・指導事項 ・教材 ・一人１台端末の活用　等	【知識・技能】 　事故の実態と被害の実態について説明できる。 　事故の発生には人的要因と環境要因が関連していることについて例をあげて説明できる。 【思考・判断・表現】 　事故は，地域，職場，家庭，学校など様々な場面において発生していること，事故の発生には，周りの状況の把握及び判断，行動や心理などの人的要因，気象条件，施設・設備，車両，法令，制度，情報体制などの環境要因などが関連していることについて，理解したことを言ったり書いたりしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 　安全な社会づくりについて，課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。	○	○	○	5
	2単元　安全な社会生活 ・応急手当の意義とその基本 ・日常的な応急手当 ・心肺蘇生法	・指導事項 ・教材 ・一人１台端末の活用　等	【知識・技能】 　・適切な応急手当は，傷害や疾病の悪化を防いだり，傷病者の苦痛を緩和したりすることについて，理解したことを言ったり書いたりしている。 ・自他の生命や身体を守り，不慮の事故災害に対応できる社会をつくるには，一人一人が適切な連絡・通報や運搬も含む応急手当の手順や方法を身に付けるとともに，自ら進んで行う態度が必要であること，さらに，社会の救急体制の整備を進めること，救急体制を適切に利用することが必要であることについて，理解したことを言ったり書いたりしている。 【思考・判断・表現】 　応急手当について，安全に関わる原則や概念を基に整理したり，個人及び社会生活と関連付けたりして，自他や社会の課題を発見している。 　応急手当について，習得した知識や技能を事故や災害で生じる傷害や疾病に関連付けて，悪化防止のための適切な方法に応用している。 【主体的に学習に取り組む態度】 　応急手当について，課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。	○	○	○	8
	定期考査			○	○	○	1

年間授業計画

高等学校 令和６年度（１学年用） 教科　芸術　　科目　音楽Ⅰ

教　科：　芸術　　科　目：　音楽Ⅰ　　単位数：　　単位
対象学年組：第　１学年　１組～　　組
教科担当者：（　1組：中野ちひろ（　組：　　）（　組：　　）（　組：　　）（　組：　　）（　組：　　）
使用教科書：（ 音楽Ⅰ　tutti+　　）

教科　芸術　　の目標：

【知識及び技能】 芸術に関する各科目の特質について理解するとともに、意図に基づいて表現するための技能を身に着けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 創造的な表現を工夫したり、芸術のよさや美しさを深く味わったりすることができるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】 生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。

科目　音楽Ⅰ　　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に着けるようにする。	自己のイメージを持って音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながらよさや美しさを自ら味わって聴くことができるようにする。	主体的・協働的に音楽の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、音楽文化に親しみ、音楽によって社会を明るく豊かなものにしていく態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現 歌	表現 器	表現 創	鑑賞	評価規準	知	思	態	時数配当
1学期	A表現バンド形式のアンサンブル 【知識及び技能】 創意工夫を生かした表現をするために各楽器の特性に応じた技能を身に着けさせる。 【思考力、判断力、表現力等】 題材に対する自己のイメージを持たせ、各楽器の演奏表現を創意工夫させる。 【学びに向かう力、人間性等】 主体的・共同的にバンド形式の演奏活動に取り組ませ、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育成する。	バンド形式のアンサンブル 自分たちで選択した楽曲、楽器編成で演奏活動を行わせる。 教材：「惑星ループ」「空も飛べるはず」	○	○			・各楽器の演奏表現やアンサンブルの音楽表現を創意工夫するために必要な技能を身に付けている。 ・自己のイメージを持ち、各楽器の演奏表現やアンサンブルの音楽表現を創意工夫している。 ・主体的・協働的に楽器及びアンサンブルの練習に取り組み、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育んでいる。	○	○	○	20
	B鑑賞我が国や郷土の伝統音楽 民謡の鑑賞 【知識】 民謡の文化的・歴史的背景と曲想と音楽の構造の関わり、及び音楽の多様性について理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 生徒に我が国の伝統的な民俗音楽を鑑賞させ、よさや美しさを自ら味わって鑑賞できるようにさせる。 【学びに向かう力、人間性等】 主体的・協働的に鑑賞活動に取り組ませ、音楽文化に親しむ姿勢を養わせる。	民謡の鑑賞 全国各地の特徴的な民謡を聴かせる。 鑑賞時には一人１台端末を活用。 教材：「江差追分」「八木節」「金毘羅船船」など				○	・民謡の文化的・歴史的背景と曲想と音楽の構造の関わり、及び音楽の多様性について理解している。 ・我が国の伝統的な音楽における旋律や歌詞のよさや美しさを、自ら味わって鑑賞できている。 ・主体的・協働的に鑑賞活動に取り組み、音楽文化に親しむ姿勢を養っている。				8
2学期	A表現　合唱 【知識及び技能】 創意工夫を生かした表現をするために曲の特性に応じた発生や歌い方の技能を身に着けさせる。 【思考力、判断力、表現力等】 題材に対する自己のイメージを持たせ、歌唱表現を創意工夫させる。 【学びに向かう力、人間性等】 主体的・共同的に歌唱活動に取り組ませ、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育成する。	合唱 自分たちで選択した題材で歌唱活動を行わせる。 ソプラノ・アルト・テノール・バスに分かれて活動する。	○				・曲想と音楽の構造や歌詞との関わり及びその関わりによって生み出される表現上の効果，様々な表現形態による歌唱表現の固有性や多様性について理解している。 ・創意工夫を生かした歌唱表現をするために必要な，他者との調和を意識して歌う技能，表現形態の特徴や表現上の効果を生かして歌う技能を身に付け，歌唱で表している。 ・音色，速度，旋律，テクスチュア，強弱を知覚し，それらの働きを感受しながら，知覚したことと感受したこととの関わりについて考え，個性豊かに歌唱表現を創意工夫している。				16
	A表現　創作 【知識及び技能】 身近な音素材を用いた作品作りを創意工夫させるために必要な知識・技能を身に着けさせる。 【思考力、判断力、表現力等】 自己のイメージを持たせ、音素材を用いた作品作りの音楽表現を創意工夫させる。 【学びに向かう力、人間性等】 主体的・共同的に創作活動に取り組ませ、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育成する。	創作 身近な音素材を使い、テーマに沿った音楽を作曲させる。		○	○		・身近な音素材を用いた作品作りを創意工夫させるために必要な知識・技能を身に着けさせる。 ・自己のイメージを持たせ、音素材を用いた作品作りの音楽表現を創意工夫させる。 ・主体的・共同的に創作活動に取り組ませ、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育成する。				12

3学期	A表現打楽器のアンサンブル 【知識及び技能】 　創意工夫を生かした表現をするために各楽器の特性に応じた技能を身に着けさせる。 【思考力、判断力、表現力等】 題材に対する自己のイメージを持たせ、各楽器の演奏表現を創意工夫させる。 【学びに向かう力、人間性等】 主体的・共同的に打楽器の演奏活動に取り組ませ、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育成する。	打楽器アンサンブル 自分たちで題材・楽器を選択し、数人でグループを組みアンサンブルを行う。					・打楽器の演奏表現を創意工夫するために必要な知識・技能を身に着けている。 ・自己のイメージを持ち、打楽器での音楽表現を創意工夫している。 ・主体的・協働的に打楽器の練習に取り組み、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育んでいる。				10
	B鑑賞　西洋の音楽 交響曲の鑑賞 【知識】 題材の文化的・歴史的背景と曲想と音楽の構造の関わり、及び音楽の多様性について理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 生徒に伝統的な西洋の器楽音楽を鑑賞させ、よさや美しさを自ら味わって鑑賞できるようにさせる。 【学びに向かう力、人間性等】 主体的・協働的に鑑賞活動に取り組ませ、音楽文化に親しむ姿勢を養わせる。	交響曲の鑑賞 古典～ロマン派期に作曲された交響曲を聴かせる。 鑑賞時には一人１台端末を活用。 教材：ベートーヴェン、ブラームス、マーラーなど				○	・曲想やオーケストラにおける表現上の効果と音楽の構造との関わりについて理解している。 ・知覚したことと感受したこととの関わりについて考えるとともに，曲や演奏に対する評価とその根拠及び音楽表現の共通性や固有性について考え，音楽のよさや美しさを深く味わって聴いている。 ・主体的・協働的に鑑賞活動に取り組み、音楽文化に親しむ姿勢を養っている。				4 合計 70

年間授業計画

高等学校 令和６年度（１学年用） 教科　　芸術　　科目　美術Ⅰ

教　科：　芸術　　科　目：　美術Ⅰ　　単位数：　2　単位

対象学年組：第　１学年　１組～

教科担当者：（1組：荒岡裕子）　（　組：　　）　（　組：　　）　（　組：　　）　（　組：　　）　（　組：　　）

使用教科書：（ 光村図書出版「美術１」 ）

教科　芸術　　の目標：

【知識及び技能】 芸術に関する各科目の特質について理解するとともに、意図に基づいて表現するための技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 創造的な表現を工夫したり、芸術のよさや美しさを深く味わったりすることができるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】 生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。

科目　美術Ⅰ　　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めるとともに，意図に応じて表現方法を創意工夫し，創造的に表すことができるようにする。	造形的なよさや美しさ，表現の意図と創意工夫，美術の働きなどについて考え，主題を生成し創造的に発想し構想を練ったり，価値意識をもって美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。	主体的に美術の幅広い創造活動に取り組み，生涯にわたり美術を愛好する心情を育むとともに，感性を高め，美術文化に親しみ，心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現			鑑賞	評価規準	知	思	態	配当時数
			絵・彫	デ	映						
1学期	題材「ARTな畑」（A絵画・Aデザイン・B鑑賞） 【知・技】表現方法を創意工夫し、創造的に表現できる【思考力、判断力、表現力等】造形的なよさや美しさを楽しみ、創意工夫できる 【学びに向かう力、人間性等】主体的に創造活動に取り組んでいる	・技法を活用して制作する（絵画） ・教科書の関連する項目を鑑賞する	○	○		○	知＝授業で得た知識を活用している 技＝表現方法を活用している 発＝思考法を活用し構想を練っている 鑑＝鑑賞を通じて見方や感じ方を深めている 態表＝表現の創造活動に取り組んでいる 態鑑＝鑑賞の創造活動に取り組んでいる	○	○	○	7
	題材「ARTな畑」（A絵画・Aデザイン・B鑑賞） 【知・技】表現方法を創意工夫し、主題を追及して創造的に表現できる 【思考力、判断力、表現力等】構想を練ることを深められる 【学びに向かう力、人間性等】主体的に創造活動に取り組んでいる	・技法を活用して制作する（絵画） ・発思考法を活用し生成された主題を見つける（デザイン） ・教科書の関連する項目を鑑賞する ・完成作品を鑑賞し合い、意図や工夫を感じ取る ・制作を振り返り説明することで鑑賞を深める	○	○		○	知＝造形的な特徴を理解している 技＝表現方法を工夫している 発＝造形的な考え、見方や感じ方を深めている 鑑＝鑑賞を通じて見方や感じ方を深めている 態表＝表現の創造活動に取り組んでいる 態鑑＝鑑賞の創造活動に取り組んでいる	○	○	○	7
	定期考査										
	題材「はじめまして私」（A絵画・B鑑賞） 【知・技】造形の要素の働きを理解できる【思考力、判断力、表現力等】表現形式の特性について、見方や感じ方を深められる 【学びに向かう力、人間性等】主体的に創造活動に取り組んでいる	・陰影の持つ造形的な役割について理解し、制作に取り組む ・制作を通じて、自己を探求する姿勢を育む ・制作を振り返り説明することで鑑賞を深める ・教科書の関連する項目を鑑賞する	○	○		○	知＝授業で得た知識を活用している 技＝意図に応じて用具の特性を生かしている 発＝造形的な考え、見方や感じ方を深めている 鑑＝鑑賞を通じて見方や感じ方を深めている 態表＝表現の創造活動に取り組んでいる 態鑑＝鑑賞の創造活動に取り組んでいる	○	○	○	7
	題材「はじめまして私」（A絵画・B鑑賞） 【知・技】造形の要素の働きを理解できる【思考力、判断力、表現力等】表現形式の特性について、見方や感じ方を深められる 【学びに向かう力、人間性等】主体的に創造活動に取り組んでいる	・陰影の持つ造形的な役割について理解し、制作に取り組む ・制作を通じて、自己を探求する姿勢を育む ・制作を振り返り説明することで鑑賞を深める ・教科書の関連する項目を鑑賞する	○			○	知＝授業で得た知識を活用している 技＝意図に応じて用具の特性を生かしている 発＝造形的な考え、見方や感じ方を深めている 鑑＝鑑賞を通じて見方や感じ方を深めている 態表＝表現の創造活動に取り組んでいる 態鑑＝鑑賞の創造活動に取り組んでいる	○	○	○	7
	定期考査										
2学期	題材「万華鏡～創造力を掻き立てる道具」（Aデザイン・B鑑賞） 【知・技】造形的な視点・技能を身に付ける【思考力、判断力、表現力等】造形的なよさや美しさから主題を生成できる【学びに向かう力、人間性等】主体的に創造活動に取り組んでいる	・文様のもつ美しさについて理解し、主題を生成する ・立体に対する造形的な視点を持つ ・制作を通じて、自己を探求する姿勢を育む ・教科書の関連する項目を鑑賞する		○		○	知＝授業で得た知識を活用している 技＝立体のとらえ方を理解している 発＝造形的な視点から主題を生成している 鑑＝鑑賞を通じて見方や感じ方を深めている 態表＝表現の創造活動に取り組んでいる 態鑑＝鑑賞の創造活動に取り組んでいる	○	○	○	7
	題材「万華鏡～創造力を掻き立てる道具」（Aデザイン・B鑑賞） 【知・技】造形的な視点・技能を身に付ける【思考力、判断力、表現力等】造形的なよさや美しさから主題を生成できる【学びに向かう力、人間性等】主体的に創造活動に取り組んでいる	・造形的な特徴に合わせて構想を練る ・材料や用具に親しみ、技能を磨く ・教科書の関連する項目を鑑賞する		○		○	知＝授業で得た知識を活用している 技＝材料や用具に対する技能を高めている 発＝造形的な特徴に対し構想を練っている 鑑＝鑑賞を通じて見方や感じ方を深めている 態表＝表現の創造活動に取り組んでいる 態鑑＝鑑賞の創造活動に取り組んでいる	○	○	○	7
	定期考査										
	題材「万華鏡～創造力を掻き立てる道具」（Aデザイン・B鑑賞） 【知・技】造形的な視点・技能を身に付ける【思考力、判断力、表現力等】造形的なよさや美しさから主題を生成できる【学びに向かう力、人間性等】主体的に創造活動に取り組んでいる	・様々な創造活動を通じて造形的よさや美しさを楽しむ ・材料や用具に親しみ、技能を磨く ・教科書の関連する項目を鑑賞する		○		○	知＝授業で得た知識を活用している 技＝材料や用具に対する技能を高めている 発＝造形的な考え、見方や感じ方を深めている 鑑＝鑑賞を通じて見方や感じ方を深めている 態表＝表現の創造活動に取り組んでいる 態鑑＝鑑賞の創造活動に取り組んでいる	○	○	○	7

	題材「万華鏡～創造力を掻き立てる道具」（Aデザイン・A映像メディア表現・B鑑賞） 【知・技】造形的な視点・技能を身に付ける【思考力、判断力、表現力等】造形的なよさや美しさから主題を生成できる【学びに向かう力、人間性等】主体的に創造活動に取り組んでいる	・様々な創造活動を通じて造形的よさや美しさを楽しむ ・映像メディアを活用し、視点を広げる ・制作を振り返り説明することで鑑賞を深める ・教科書の関連する項目を鑑賞する		○	○	○	知＝授業で得た知識を活用している 技＝造形的な視点について理解を深める 発＝造形的な考え、見方や感じ方を深めている 鑑＝鑑賞を通じて見方や感じ方を深めている 態表＝表現の創造活動に取り組んでいる 態鑑＝鑑賞の創造活動に取り組んでいる	○	○	○	7
	定期考査										
3学期	題材「プロジェクションマッピング」（A彫刻・A映像メディア表現・B鑑賞） 【知・技】造形的な視点について理解を深める【思考力、判断力、表現力等】映像表現を活用した構想を練る【学びに向かう力、人間性等】主体的に創造活動に取り組んでいる	・立体と空間での表現について理解する ・映像メディアの特性を理解する ・造形的な特徴に応じて構想を練る ・教科書の関連する項目を鑑賞する			○	○	知＝授業で得た知識を活用している 技＝造形的な視点について理解を深める 発＝造形的な考え、見方や感じ方を深めている 鑑＝鑑賞を通じて見方や感じ方を深めている 態表＝表現の創造活動に取り組んでいる 態鑑＝鑑賞の創造活動に取り組んでいる	○	○	○	7
	題材「プロジェクションマッピング」（A彫刻・A映像メディア表現・B鑑賞） 【知・技】造形的な視点について理解を深める【思考力、判断力、表現力等】映像表現を活用した構想を練る【学びに向かう力、人間性等】主体的に創造活動に取り組んでいる	・メディア表現の技能を身に付ける ・制作を振り返り説明することで鑑賞を深める ・教科書の関連する項目を鑑賞する	○		○	○	知＝授業で得た知識を活用している 技＝造形的な視点について理解を深める 発＝造形的な考え、見方や感じ方を深めている 鑑＝鑑賞を通じて見方や感じ方を深めている 態表＝表現の創造活動に取り組んでいる 態鑑＝鑑賞の創造活動に取り組んでいる	○	○	○	7
	定期考査										

年間授業計画

高等学校 令和６年度（１学年用） 教科　外国語　科目 英語コミュニケーションⅠ

教　科：外国語　科　目：英語コミュニケーションⅠ　単位数：3　単位

対象学年組：第　１学年　１組

教科担当者：（１組：中村・仙波）（　組：　）（　組：　）（　組：　）（　組：　）（　組：　）

使用教科書：（ PANORAMA ENGLISH COMMUNICATION Ⅰ　大修館書店 ）

教科　外国語　の目標：

【知識及び技能】外国語の音声や表現などの理解を深め、知識を応用し、５技能を用いて、場面等に応じて活用する技能を身に付ける。

【思考力、判断力、表現力等】外国語で話し手の書き手の意図や考えを理解し、それらを活用して自分の意図や考えを表現する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】外国語の背景にある文化に対する理解を深め、主体的、自立的に外国語を用いてコミュニケーションを図る態度を養う。

科目　英語コミュニケーションⅠ　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けるようにする。	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりすることができる力を養う。	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域					評価規準	知	思	態	配当時数
			聞	読	話［や］	話［発］	書					
1学期	Lesson 1・人物についての会話や説明を理解することができる。・人物についての英文の概要や要点を理解することができる。・人物やその人の考えについてやり取りすることができる。・絵や写真を見せながら人物について話すことができる。・自分の余暇の行動について簡潔に書くことができる。・尊敬する人についてやり取りすることができる。	題材を通してことばには人を勇気づける力があることについて理解を深め、生きる上での言葉の大切さについて考える。	○	○	○	○	○	・聞いた内容について書いてまとめるために、人物やその人の考えについて話された文章の概要や要点を捉えている。・読んだ内容について書いてまとめるために、人物やその人の考えについて書かれた文章の概要や要点を捉えている。・クラスメートにわかるように、人物やその人の考えについて、基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを、論理性に注意して話して伝えあったり伝えたりしている。・自己紹介文を書く場面で、自分が余暇にしていることについて、情報や考え、気持ちなどを、基本的な語句や文を用いて、論理性に注意して書いて伝えている。	○	○	○	14
	定期考査			○			○		○	○		1
	Lesson 4 ・将来の職業についての会話や説明を理解することができる。・職業についての英文の概要や要点を理解することができる。・将来の職業についてやり取りすることができる。・絵や写真を見せながら職業の変化について話すことができる。・興味のある職業について簡潔に書くことができる。・職業選択において優先する要素について意見を書くことができる。	社会の変化と職業の関係について理解を深め、将来の職業選択について考える。	○	○	○	○	○	・聞いた内容について書いてまとめるために、職業について話された文章の概要や要点を捉えている。・読んだ内容について書いてまとめるために、職業について書かれた文章の概要や要点を捉えている。・クラスメートにわかるように、職業に関する話題について、情報や考え、気持ちなどを、基本的な語句や文を用いて、論理性に注意して話して伝え合ったり伝えたりしている。・自分のことについて理解してもらえるように、職業に関する話題について、情報や考え、気持ちなどを、基本的な語句や文を用いて、論理性に注意して書いて伝えている。	○	○	○	14
	定期考査			○			○		○	○		1
2学期	Lesson 6・実話についての会話や説明を理解することができる。・実話に基づく物語の概要や要点を理解することができる。・物語や登場人物の心情についてやり取りすることができる。・絵や写真を見せながら物語のあらすじを話すことができる。・思い出に残っている旅について簡潔に書くことができる。・好きな映画や本についてブログを書くことができる。	人の運命的な経験について理解を深め、人の心の動きや行動について考える。	○	○	○	○	○	・聞いた内容について書いてまとめるために、実話について話された文章の概要や要点を捉えている。・読んだ内容について書いてまとめるために、実話に基づく物語の概要や要点を捉えている。・クラスメートにわかるように、読んだ物語の内容について、情報や考え、気持ちなどを、基本的な語句や文を用いて、論理性に注意して話して伝え合ったり伝えたりしている。・自分のことについて理解してもらえるように、思い出に残っている旅について、情報や考え、気持ちなどを、基本的な語句や文を用いて、論理性に注意して書いて伝えている。	○	○	○	16
	定期考査			○			○		○	○		1
	Lesson 7・人間の心理についての会話や講義を理解することができる。・人間の心理についての英文の概要や要点を理解することができる。・人間の感情についてやり取りすることができる。・絵や写真を見せながら人間の表情について話すことができる。・他の教科で学んだことについて簡潔に書くことができる。・短い講義を聞いて内容を理解することができる。	顔の表情の持つ意味について理解を深め、人と人とのコミュニケーションの在り方について考える。	○	○	○	○	○	・聞いた内容について書いてまとめるために、顔の表情や対面コミュニケーションについて話された文章の概要や要点を捉えている。・読んだ内容について書いてまとめるために、顔の表情や対面コミュニケーションについて書かれた文章の概要や要点を捉えている。・クラスメートにわかるように、顔の表情や対面コミュニケーションに関する話題について、情報や考え、気持ちなどを、基本的な語句や文を用いて、論理性に注意して話して伝え合ったり伝えたりしている。・クラスメートにわかるように、他の教科で学んだことについて情報や考え、気持ちなどを、基本的な語句や文を用いて、論理性に注意して書いて伝えている。	○	○	○	15
	定期考査			○			○		○	○		1
	Lesson 8・日常の行動についての会話や指示を理解することができる。・スペシャリストについての英文の概要や要点を理解することができる。・スペシャリストとその仕事についてやり取りすることができる。・絵や写真を見せながらスペシャリストの業績について話すことができる。・身近な人などについて簡潔に書くことができる。 ［Target Task／R（★）］ Eメールで送られたプロフィールを読んで内容を理解することができる	スペシャリストの仕事に対する考え方について理解を深め、将来の生き方について考える。	○	○	○	○	○	・聞いた内容について書いてまとめるために、スペシャリストについて話された文章の概要や要点を捉えている。・読んだ内容について書いてまとめるために、スペシャリストについて書かれた文章の概要や要点を捉えている。・クラスメートにわかるように、スペシャリストに関する話題について、情報や考え、気持ちなどを、基本的な語句や文を用いて、論理性に注意して話して伝え合ったり伝えたりしている。・クラスメートにわかるように、スペシャリストに関する話題について、情報や考え、気持ちなどを、基本的な語句や文を用いて、論理性に注意して書いて伝えている。	○	○	○	12

3学期	Lesson 9・人類の発明についての会話や説明を理解することができる。・人類の飛行の歴史についての英文の概要や要点を理解することができる。・人類の飛ぶことへの興味についてやり取りすることができる。・絵や写真を見せながら人類の飛行の歴史について話すことができる。・タイムマシンでしたいことについて簡潔に書くことができる。 [Target Task／L(★)]	人類と飛行の歴史について理解を深め、人間の努力と文明の発達について考える。	○	○	○	○	○	・聞いた内容について書いてまとめるために、人類と飛行の歴史について話された文章の概要や要点を捉えている。・読んだ内容について書いてまとめるために、人類と飛行の歴史について書かれた文章の概要や要点を捉えている。・クラスメートにわかるように、人類と飛行の歴史に関する話題について、情報や考え、気持ちなどを、基本的な語句や文を用いて、論理性に注意して話して伝え合ったり伝えたりしている。・クラスメートにわかるように、タイムマシンでしたいことについて情報や考え、気持ちなどを、基本的な語句や文を用いて、論理性に注意して書いて伝えている。	○	○	○	11
	定期考査			○			○		○	○		1

年間授業計画

高等学校 令和6年度（１学年用） 教科　　外国語　　科目 論理・表現Ⅰ

教　科：　外国語　　科　目：　論理・表現Ⅰ　　単位数：　2　単位

対象学年組：第　１学年　１組～

教科担当者：（１組：竹田・仙波）　（　組：　　）　（　組：　　）　（　組：　　）　（　組：　　）　（　組：　　）

使用教科書：（ New Favorite English Logic and Expression Ⅰ 東京書籍　　）

教科　外国語　　の目標：

【知識及び技能】外国語の音声や表現などの理解を深め、知識を応用し、５技能を用いて、場面等に応じて活用する技能を身に付ける。

【思考力、判断力、表現力等】外国語で話し手の書き手の意図や考えを理解し、それらを活用して自分の意図や考えを表現する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】外国語の背景にある文化に対する理解を深め、主体的、自立的に外国語を用いてコミュニケーションを図る態度を養う。

科目　論理・表現Ⅰ　　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
様々なシチュエーションで求められる英語の表現の意味、音を理解し、状況に応じて、読み、書き、話すことができる知識及び技能を身に付ける。	様々なシチュエーションで求められる英語の表現を「まねる」ことを基礎とし、そこから一歩踏み出し、自分のアイデアや状況を乗せて発信できる力を身に付ける。	聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、間違いを恐れず、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域					評価規準	知	思	態	配当時数
			聞	読	話［や］	話［発］	書					
1学期	Lesson 1 【知識及び技能】 褒める・勧める・断る表現の形・意味・用法を理解し、運用できる。 【思考力、判断力、表現力等】 場面や状況を理解し，適切な表現を用いて自分の考えや気持ちなどを伝えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 自身の活動を振り返りながら，適切な表現を用いて繰り返し活動に取り組もうとする。自分の考えや気持ちなどを伝え合おうとする。	[題材内容] 留学先での初めての食事の場面 [言語の働き] 褒める，勧める，断る [文法] 未来表現，可算名詞・不可算名詞，受動態	○	○	○		○	「単元の具体的な指導目標」に基づき、ペア・グループワーク活動、発表などの実技テスト、定期考査、その他授業内の取り組みなどを総合的に評価する。	○	○	○	6
	Lesson 2 【知識及び技能】 提案する，依頼する，道順を説明するときの表現の形・意味・用法を理解し運用できる。 【思考力、判断力、表現力等】 場面や状況を理解し，適切な表現を用いて自分の考えや気持ちなどを伝えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 自身の活動を振り返りながら，適切な表現を用いて繰り返し活動に取り組もうとする。自分の考えや気持ちなどを伝え合おうとする。	[題材内容] 道に迷った・道を案内する場面 [言語の働き] 提案する，依頼する，道順を説明する [文法] （Could you …?や命令文など）	○	○	○		○	「単元の具体的な指導目標」に基づき、ペア・グループワーク活動、発表などの実技テスト、定期考査、その他授業内の取り組みなどを総合的に評価する。	○	○	○	5
	定期考査								○	○		1
	Lesson 3 【知識及び技能】 身近な人を紹介する，聞き手の注意を引くときの表現の形・意味・用法を理解し運用できる。 【思考力、判断力、表現力等】 場面や状況を理解し，適切な表現を用いて自分の考えや気持ちなどを伝えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 自身の活動を振り返りながら，適切な表現を用いて繰り返し活動に取り組もうとする。自分の考えや気持ちなどを伝え合おうとする。	[題材内容] 身近な人を紹介するスピーチ [言語の働き] 身近な人を紹介する，注意を引く [文法] 現在完了形と過去形，to不定詞と動名詞	○	○		○	○	「単元の具体的な指導目標」に基づき、ペア・グループワーク活動、発表などの実技テスト、定期考査、その他授業内の取り組みなどを総合的に評価する。	○	○	○	8
	Lesson 4 【知識及び技能】 体調を伝える，体調を尋ねる，指示・アドバイスをするときの表現の形・意味・用法を理解し運用できる。 【思考力、判断力、表現力等】 場面や状況を理解し，適切な表現を用いて自分の考えや気持ちなどを伝えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 自身の活動を振り返りながら，適切な表現を用いて繰り返し活動に取り組もうとする。自分の考えや気持ちなどを伝え合おうとする。	[題材内容] 体調をめぐるやり取りの場面 [言語の働き] 体調を伝える，体調を尋ねる，指示・アドバイスをする [文法] 冠詞・人称代名詞，should had better	○	○	○		○	「単元の具体的な指導目標」に基づき、ペア・グループワーク活動、発表などの実技テスト、定期考査、その他授業内の取り組みなどを総合的に評価する。	○	○	○	7

	定期考査								○	○		1
2学期	Lesson 5 【知識及び技能】 描写する，相づちを打つときの表現の形・意味・用法を理解し運用できる。 【思考力、判断力、表現力等】 場面や状況を理解し，適切な表現を用いて自分の考えや気持ちなどを伝えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 自身の活動を振り返りながら，適切な表現を用いて繰り返し活動に取り組もうとする。自分の考えや気持ちなどを伝え合おうとする。	[題材内容] 買い物の場面 [言語の働き] 描写する，相づちを打つ [文法] 現在形と現在進行形，現在完了形と過去形	○	○	○		○	「単元の具体的な指導目標」に基づき、ペア・グループワーク活動、発表などの実技テスト、定期考査、その他授業内の取り組みなどを総合的に評価する。	○	○	○	5
	Lesson 6 【知識及び技能】 希望を述べる，理由を述べるときの表現の形・意味・用法を理解し運用できる。 【思考力、判断力、表現力等】 場面や状況を理解し，適切な表現を用いて自分の考えや気持ちなどを伝えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 自身の活動を振り返りながら，適切な表現を用いて繰り返し活動に取り組もうとする。自分の考えや気持ちなどを伝え合おうとする。	[題材内容] 行ってみたい場所についてのライティング [言語の働き] 希望を述べる，理由を述べる [文法] 後置修飾，to不定詞と動名詞	○	○			○	「単元の具体的な指導目標」に基づき、ペア・グループワーク活動、発表などの実技テスト、定期考査、その他授業内の取り組みなどを総合的に評価する。	○	○	○	8
	定期考査								○	○		1
	Lesson 7 【知識及び技能】 誘う，誘いを受ける，誘いを断るときの表現の形・意味・用法を理解し運用できる。 【思考力、判断力、表現力等】 場面や状況を理解し，適切な表現を用いて自分の考えや気持ちなどを伝えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 自身の活動を振り返りながら，適切な表現を用いて繰り返し活動に取り組もうとする。自分の考えや気持ちなどを伝え合おうとする。	[題材内容] イベントに誘ったり，誘われたりする場面 [言語の働き] 誘う，誘いを受ける，誘いを断る [文法] 未来表現	○	○	○		○	「単元の具体的な指導目標」に基づき、ペア・グループワーク活動、発表などの実技テスト、定期考査、その他授業内の取り組みなどを総合的に評価する。	○	○	○	8
	Lesson 8 【知識及び技能】 状況を説明する，手助けを申し出る，助言・提案をする，お礼や感謝を伝えるなどの表現の形・意味・用法を理解し運用できる。 【思考力、判断力、表現力等】 場面や状況を理解し，適切な表現を用いて自分の考えや気持ちなどを伝えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 自身の活動を振り返りながら，適切な表現を用いて繰り返し活動に取り組もうとする。自分の考えや気持ちなどを伝え合おうとする。	[題材内容] スクールカウンセラーとやり取りをする場面 [言語の働き] 状況を説明する，手助けを申し出る，助言・提案する，お礼や感謝を伝える [文法] howやwhyを用いた文	○	○	○		○	「単元の具体的な指導目標」に基づき、ペア・グループワーク活動、発表などの実技テスト、定期考査、その他授業内の取り組みなどを総合的に評価する。	○	○	○	7
	定期考査								○	○		1
3	Lesson 9 【知識及び技能】 映画や本のあらすじを要約する，登場人物などを紹介する，感想や批評を述べるときの表現の形・意味・用法を理解し運用できる。 【思考力、判断力、表現力等】 場面や状況を理解し，適切な表現を用いて自分の考えや気持ちなどを伝えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 自身の活動を振り返りながら，適切な表現を用いて繰り返し活動に取り組もうとする。自分の考えや気持ちなどを伝え合おうとする。	[題材内容] 自分のお気に入りを紹介するスピーチ [言語の働き] 映画や本のあらすじを要約したり，登場人物などを紹介したりする，感想や批評を述べる [文法] 前置修飾，後置修飾	○	○		○	○	「単元の具体的な指導目標」に基づき、ペア・グループワーク活動、発表などの実技テスト、定期考査、その他授業内の取り組みなどを総合的に評価する。	○	○	○	5

学期	Lesson 10 【知識及び技能】 謝る，許す，励ますときの表現の形・意味・用法を理解し運用できる。 【思考力、判断力、表現力等】 場面や状況を理解し，適切な表現を用いて自分の考えや気持ちなどを伝えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 自身の活動を振り返りながら，適切な表現を用いて繰り返し活動に取り組もうとする。自分の考えや気持ちなどを伝え合おうとする。	[題材内容] 待ち合わせに遅刻したときの場面 [言語の働き] 相手に謝る，相手を許す，相手を励ます [文法] 使役動詞，to不定詞と動名詞	○	○	○		○	「単元の具体的な指導目標」に基づき、ペア・グループワーク活動、発表などの実技テスト、定期考査、その他授業内の取り組みなどを総合的に評価する。	○	○	○	8
	定期考査								○	○		1

年間授業計画

高等学校 令和６年度（１学年用） 教科　　情報　　科目 情報Ⅰ

教　科：情報　　科　目：情報Ⅰ　　単位数：　2　単位

対象学年組：第　１学年　　１組

教科担当者：（　瀧澤　美和　）

使用教科書：　数検出版「情報Ⅰ　Next」　　）

【知識及び技能】情報と情報技術及びこれらを活用して問題を発見・解決する方法について理解を深め技能を習得するとともに、情報社会と人との関りについての理解をふかめるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】様々な事象を情報とその結び付きとして捉え、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】情報と情報技術を適切に活用するとともに、情報社会に主体的に参画する態度を養う。

科目　情報Ⅰ　　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
効果的なコミュニケーションの実現、コンピュータやデータの活用について理解を深め技能を習得するとともに、情報社会と人との関わりについての理解を深めるようにする。	様々な事象を情報とその結び付きとして捉え、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用する力を養う。	情報と情報技術を適切に活用するとともに、情報社会に主体的に参画する態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	情報とは何か、情報の信ぴょう性とは何かを理解させ、クロスチェックの重要性を具体的に理解させる。	第１編　第１章　情報とメディア	【知識・技能】 情報がもつ意味やはたらきについて理解している。 【思考・判断・表現】 情報の価値や信頼性、情報を検証する方法について考え、判断し、適切に表現する。 【主体的に学習に取り組む態度】 具体的な問題解決の手順を身に付けようとしている。	○	○	○	6
	情報に関する法規や制度について理解させるとともに、それらの必要性について考えさせる。 人工知能やデジタルトランスフォーメーションなど、発展する情報技術と情報技術がもたらす社会や生活の変化について理解させる。	第１編　第２章　情報社会における法とセキュリティ 第１編　第３章　情報技術が社会に及ぼす影響	【知識・技能】 情報技術が人や社会にはたす役割と及ぼす影響について理解している。 【思考・判断・表現】 情報と情報技術の適切かつ効果的な活用と望ましい情報社会の構築について考察している。 【主体的に学習に取り組む態度】 情報モラルに配慮して情報社会に主体的に参画している。	○	○	○	8
	アナログとデジタルの違い、デジタル情報の特徴やメリットを理解させる。 情報を発信するときのメディアの性質と特徴を理解させ、目的や状況に応じて適切なメディアの選択ができる力を身に付けさせる。	第２編　第１章　情報のデジタル表現 第２編　第２章　コミュニケーション手段の発展と特徴	【知識・技能】 メディアの特性とコミュニケーション手段の特徴について、その変遷もふまえて科学的に理解している。 【思考・判断・表現】 コミュニケーションの目的を明確にして、適切かつ効果的な情報デザインを考えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 情報と情報技術を活用して効果的なコミュニケーションを行おうとしている。	○	○	○	8
	情報デザインが人や社会に果たしている役割を理解させるとともに、情報を抽象化・構造化・可視化する方法や表現を工夫する技能を身に付けさせる。 プレゼンテーションソフトウェアの使い方や表現する技能を身に付けさせるとともに、その創作物を評価し改善する活動を行わせる。	第２編　第３章　情報デザイン 第２編　第４章　プレゼンテーション	【知識・技能】 効果的なコミュニケーションを行うための情報デザインの考え方や方法を理解し表現する技能を身につけている。 【思考・判断・表現】 情報デザインの考え方や方法に基づいて表現し、評価し改善している。 【主体的に学習に取り組む態度】 情報デザインを効果的に活用し、情報社会に主体的に参画しようとしている。	○	○	○	7
	定期考査			○	○		1
2学期	コンピュータの基本的なしくみとはたらき、CPU、メモリ、補助記憶装置、入出力装置、OS、ファイルの基礎について理解させる。	第３編　第１章コンピュータの仕組み	【知識・技能】 コンピュータや外部装置のしくみや特徴、コンピュータでの情報の内部表現と計算に関する限界について理解している。 【思考・判断・表現】 コンピュータで扱われる情報の特徴とコンピュータの能力との関係について考察している。 【主体的に学習に取り組む態度】 問題の発見・解決にコンピュータを積極的に活用しようとしている。	○	○	○	6
	問題の解法をアルゴリズムを用いて表現する方法を身に付けさせる。 プログラミングの基本的な考え方とコンピュータを活用する方法を理解させる。	第３編　第２章プログラミング	【知識・技能】 アルゴリズムを表現する手段、プログラミングによってコンピュータや情報通信ネットワークを活用する方法を身につけているを理解し身につけている。 【思考・判断・表現】 目的に応じたアルゴリズムを考え適切な方法で表現し、プログラミングによりコンピュータや情報通信ネットワークを活用するとともに、その過程を評価し改善している。 【主体的に学習に取り組む態度】 問題解決の結果を振りかえり改善しようとしている。	○	○	○	8
	モデル化やシュミレーションの考え方・手順を理解させ、シュミレーションを通してモデルを評価し改善する活動を行わせる。	第３編　第３章モデル化とシュミレーション	【知識・技能】 社会や自然などにおける事象をモデル化する方法、シュミレーションを通してモデルを評価し改善する方法について理解している。 【思考・判断・表現】 目的に応じたモデル化やシュミレーションを適切に行うとともに、その結果をふまえて問題の適切な解決方法を考えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 身近な問題を解決するプログラムやシュミレーションの結果をもとに、試行錯誤しながら評価し改善しようとすることなどを通して、情報社会に主体的に参画しようとしている。	○	○	○	8

	コンピュータでの通信の基本的な方式やプロトコルなど、インターネットでの通信の原理について理解させる。	第４編　第１章ネットワークのしくみ	【知識・技能】 情報通信ネットワークのしくみや構成要素、プロトコルの役割および情報セキュリティを確保するための方法や技術について理解している。 【思考・判断・表現】 目的や状況に応じて、情報通信ネットワークにおける必要な構成要素を選択するとともに、情報セキュリティを確保する方法について考えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 情報技術を適切かつ効果的に活用しようとしている。	○	○	○	7
	定期考査			○	○		1
3学期	データベースの概念や、データベース管理システムの機能について理解させる。	第４編　第２章データベース	【知識・技能】 データを蓄積、管理、提供する方法、情報通信ネットワークを介して情報システムがサービスを提供するしくみと特徴について理解している。 【思考・判断・表現】 情報システムが提供するサービスの効果的な活用について考えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 データを多面的に精査し、情報システムが提供するサービスを効果的に活用しようとしている。	○	○	○	5
	データを分析する際に必要となる、データの形式、データの収集方法、データの種類について理解させるとともに、それらを扱いデータを分析する技能を身に付けさせる。	第４編　第３章データの分析	【知識・技能】 データを表現、蓄積するための表し方と、データを収集、整理、分析する方法について理解し、技能を身につけている。 【思考・判断・表現】 データの収集、整理、分析および結果の表現の方法を適切に選択し、実行し、評価し改善しようとしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 情報セキュリティなどに配慮して情報社会に主体的に参画しようとしている。	○	○	○	8
	定期考査			○	○		1

年間授業計画

高等学校 令和６年度（１学年用） 教科　総合的な探究の時間　科目

教　科：　総合的な探究の時間　　科　目：　　単位数：　１　単位

対象学年組：第　１学年　１組

教科担当者：　（１組：田中・金綱・兵藤・加藤・竹田・中村・仙波）

使用教科書：（　　）

教科　総合的な探究の時間　　の目標：

【知識及び技能】　課題の発見と解決に必要な知識・技能を身に付け、課題に関わる概念を形成し、探究の意義や価値を理解する。

【思考力, 判断力, 表現力等】　実社会や実生活と自己との関りから問いを見出し、情報を集め、整理・分析して、まとめることができるようにする。

【学びに向かう力, 人間性等】　課題に主体的・協働的に取り組み、互いの良さを生かしながらよりよい社会を実現しようとする態度を養う。

教科　総合的な探究の時間　　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
進路に関し、情報を収集・整理・分析することで、自己の進路を切り開く手段を知り、身に付ける。 小笠原の豊かな自然の大切さとそれを保護する方法を知ると共に環境保全の在り方を探る。	小笠原が抱える課題について探究・発表することで探究心と問題解決能力及び表現力を高める。	地域社会を作る力を育むと共に、道徳性を養う。 将来に向けて自己の在り方を考え、より良い生き方を選択する能力を高める。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	教務部・進路部、１学年担任の指導のもと、自分の進路を考えるという課題に取り組ませる。情報を収集し、探究させる。	オリエンテーション 高校で何を学ぶか 職業適性検査の実施	担当教諭により【知識・技能】【思考・判断・表現】【主体的に学習に取り組む態度】のそれぞれの観点について評価する。	○	○	○	4
	教務部・進路部、１学年担任の指導のもと、自分の進路を考えるという課題に取り組ませる。情報を収集し、探究させる。	「進路の手引き」の研究 外部人材の講演	担当教諭により【知識・技能】【思考・判断・表現】【主体的に学習に取り組む態度】のそれぞれの観点について評価する。	○	○	○	4
	教務部・進路部、１学年担任の指導のもと、自分の進路を考えるという課題に取り組ませる。情報を収集し、探究させる。	職業調べ 学問調べ	担当教諭により【知識・技能】【思考・判断・表現】【主体的に学習に取り組む態度】のそれぞれの観点について評価する。	○	○	○	4
	教務部・進路部、１学年担任の指導のもと、自分の進路を考えるという課題に取り組ませる。情報を収集し、探究させる。	学校調べ オープンキャンパス訪問準備	担当教諭により【知識・技能】【思考・判断・表現】【主体的に学習に取り組む態度】のそれぞれの観点について評価する。	○	○	○	3
2学期	理科の担当教諭の指導のもと、テーマ学習を進め、地域の自然とそれに係る課題を理解させる。また、課題について情報を収集し、探究させる。	小笠原の自然 特異な自然環境	担当教諭により【知識・技能】【思考・判断・表現】【主体的に学習に取り組む態度】のそれぞれの観点について評価する。	○	○	○	3
	理科の担当教諭の指導のもと、テーマ学習を進め、地域の自然とそれに係る課題を理解させる。また、課題について情報を収集し、探究させる。	自然の神秘 生態系の現状	担当教諭により【知識・技能】【思考・判断・表現】【主体的に学習に取り組む態度】のそれぞれの観点について評価する。	○	○	○	4
	理科の担当教諭の指導のもと、テーマ学習を進め、地域の自然とそれに係る課題を理解させる。また、課題について情報を収集し、探究させる。	世界遺産である所以 小笠原の生物の進化	担当教諭により【知識・技能】【思考・判断・表現】【主体的に学習に取り組む態度】のそれぞれの観点について評価する。	○	○	○	3

	理科の担当教諭の指導のもと、テーマ学習を進め、地域の環境保護活動とそれに係る課題を理解させる。また、課題について情報を収集し、探究させる。	環境保護への取り組み	担当教諭により【知識・技能】【思考・判断・表現】【主体的に学習に取り組む態度】のそれぞれの観点について評価する。	○	○	○	3
3学期	英語科の担当教諭の指導のもと、地域における自己の在り方と生き方を、郷土の創造に関わりながら考えさせる。地域が抱える課題に取り組む中で、地域社会に参画し貢献していく力を養う。	小笠原のマチづくり 外部人材の講演	担当教諭により【知識・技能】【思考・判断・表現】【主体的に学習に取り組む態度】のそれぞれの観点について評価する。	○	○	○	4
	英語科の担当教諭の指導のもと、地域における自己の在り方と生き方を、郷土の創造に関わりながら考えさせる。地域が抱える課題に取り組む中で、地域社会に参画し貢献していく力を養う。	小笠原のマチづくり 課題解決に向けたグループ活動と発表	担当教諭により【知識・技能】【思考・判断・表現】【主体的に学習に取り組む態度】のそれぞれの観点について評価する。	○	○	○	3

年間授業計画

高等学校 令和６年度（１学年用） 教科　　人間と社会　科目 人間と社会

教　科：　人間と社会　　科　目：　人間と社会　　単位数：　1　単位

対象学年組：第　1 学年

教科担当者：（1組：加藤　）

使用教科書：（「人間と社会」　　）

教科　人間と社会　　の目標：

【知識及び技能】　予測できない社会の変化や新しい課題に対応するため、主体的に自己や社会の課題を発見し、解決に向けて必要な知識及び技能を身に付ける。

【思考力, 判断力, 表現力等】　社会的現実に照らし、より良い生き方を選択することができるよう、自己と社会との関りから課題を見出し、情報を集め、整理・分析して、多面的・多角的に考察する力や、考察したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。

【学びに向かう力, 人間性等】　演習や体験活動に主体的・協働的に取り組むことによって、人間としての在り方生き方に対する自覚を深め、自己の生き方を充実させようとする態度と、互いの良さを生かしながら、社会の一員であることを自覚し、よりよい社会を実現しようとする態度を養う。

科目　人間と社会　　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
予測できない社会の変化や新しい課題に対応するため、主体的に自己や社会の課題を発見し、解決に向けて必要な知識及び技能を身に付ける。	社会的現実に照らし、より良い生き方を選択することができるよう、自己と社会との関りから課題を見出し、情報を集め、整理・分析して、多面的・多角的に考察する力や、考察したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。	演習や体験活動に主体的・協働的に取り組むことによって、人間としての在り方生き方に対する自覚を深め、自己の生き方を充実させようとする態度と、互いの良さを生かしながら、社会の一員であることを自覚し、よりよい社会を実現しようとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	単元 体験活動「地域行事支援」	「こどもまつり」出店準備（課題設定） 「こどもまつり」出店（情報収集）	【知識・技能】 様々な価値や考え方があるという多様性の理解 他者と協働する意義の理解 【思考・判断・表現】 多面的、多角的な考察 内面の成長や行動の変化 【主体的に学習に取り組む態度】 当事者意識や探究への姿勢 社会の一員として主体的に関わろうとする姿勢	○	○	○	8
	単元 第３章「働くことの意義」	「働くこと」とはどんなことか、またそれがなぜ社会に貢献することに繋がっているのかを考える。	【知識・技能】 様々な価値や考え方があるという多様性の理解 他者と協働する意義の理解 【思考・判断・表現】 多面的、多角的な考察 内面の成長や行動の変化 【主体的に学習に取り組む態度】 当事者意識や探究への姿勢 社会の一員として主体的に関わろうとする姿勢	○	○	○	6
2学期	単元 「小笠原村主催防災訓練」参加のための事前学習と準備 体験活動「小笠原村主催防災訓練」	実施要項の周知 災害救援分野のグループ分けと準備（課題設定） 小笠原村防災訓練に対する支援（情報収集）	【知識・技能】 様々な価値や考え方があるという多様性の理解 他者と協働する意義の理解 【思考・判断・表現】 多面的、多角的な考察 内面の成長や行動の変化 【主体的に学習に取り組む態度】 当事者意識や探究への姿勢 社会の一員として主体的に関わろうとする姿勢	○	○	○	4
	単元 第１３章「地域社会を築く」	地域社会を築くことについて学ぶ。また、そのために大切な考えについて議論する。	【知識・技能】 様々な価値や考え方があるという多様性の理解 他者と協働する意義の理解 【思考・判断・表現】 多面的、多角的な考察 内面の成長や行動の変化 【主体的に学習に取り組む態度】 当事者意識や探究への姿勢 社会の一員として主体的に関わろうとする姿勢	○	○	○	2
	単元 第１４章「自然と人間の関わり」	私達の生活と取り巻く自然について学ぶ。また、自然と共に生きるために大切な考えについて議論する。	【知識・技能】 様々な価値や考え方があるという多様性の理解 他者と協働する意義の理解 【思考・判断・表現】 多面的、多角的な考察 内面の成長や行動の変化 【主体的に学習に取り組む態度】 当事者意識や探究への姿勢 社会の一員として主体的に関わろうとする姿勢	○	○	○	2
	単元 「兄島環境学習（移入種除去活動等）」の準備（事前学習） 体験活動「兄島環境学習（移入種除去活動等）」	危険防止・コースの説明、自然についての解説（課題設定） 兄島での移入種除去活動及び固有種の植栽、体験活動（情報収集）	【知識・技能】 様々な価値や考え方があるという多様性の理解 他者と協働する意義の理解 【思考・判断・表現】 多面的、多角的な考察 内面の成長や行動の変化 【主体的に学習に取り組む態度】 当事者意識や探究への姿勢 社会の一員として主体的に関わろうとする姿勢	○	○	○	6

3学期	単元 「兄島環境学習（移入種除去活動等）」事後学習	移入種除去活動及び固有種の植栽体験活動のレポート作成・発表活動	【知識・技能】 様々な価値や考え方があるという多様性の理解 他者と協働する意義の理解 【思考・判断・表現】 多面的、多角的な考察 内面の成長や行動の変化 【主体的に学習に取り組む態度】 当事者意識や探究への姿勢 社会の一員として主体的に関わろうとする姿勢	○	○	○	2
	単元 第１章「人間関係を築く」 最終章　これからの生き方	人間関係を築くことについて学び、よりよい人間関係を築くための大切な考えについて議論する。 どのようにして幸せな世の中にしていくか、そのために何ができるかを考える。	【知識・技能】 様々な価値や考え方があるという多様性の理解 他者と協働する意義の理解 【思考・判断・表現】 多面的、多角的な考察 内面の成長や行動の変化 【主体的に学習に取り組む態度】 当事者意識や探究への姿勢 社会の一員として主体的に関わろうとする姿勢	○	○	○	2
	単元 「海岸清掃」事前学習 体験活動「海岸清掃」	海岸清掃の意義とやり方の確認（課題設定） 海岸のゴミ拾い（情報収集）	【知識・技能】 様々な価値や考え方があるという多様性の理解 他者と協働する意義の理解 【思考・判断・表現】 多面的、多角的な考察 内面の成長や行動の変化 【主体的に学習に取り組む態度】 当事者意識や探究への姿勢 社会の一員として主体的に関わろうとする姿勢	○	○	○	3